

# <u>イーサネット VPN装置</u>

# FNX0710

# ユーザーマニュアル



2010年8月

●本書の構成と使い方

この度は、Fleboダイヤル FNX0710をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 本書では、本装置をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明しています。

### ●本書の読者と前提知識

本書は、ネットワークに関する基本的な知識を持っている方、あるいはネットワーク管理者を対象としております。

#### ●Webブラウザ環境について

・本装置はWeb ブラウザーで設定の変更や確認を行うことができます。 Web ブラウザーは下記のバージョンに対応しています。

### < Windows® Vista >

\*Microsoft 
 Internet Explorer version 7.0

### < Windows® XP/ 2000 >

Microsoft ® Internet Explorer version 6.0 以上

※ Microsoft ® Internet Explorer 7.0 で動作確認をおこなっております。

- ◎ 本書説明している表示画面についてはお使いの OS や Web ブラウザーのバージョンにより異なります。
- ◎ お使いの Web ブラウザーの設定により本書に書かれている操作を行っても、以前に保存した内容が表示することがあります。
- ◎ 回線・ネットワークの状況によって設定内容はWeb ブラウザーに表示するまで時間がかかることがあります。

### ●本書における商標の表記について

- ・フレッツ,フレッツ・ADSL,Bフレッツ,フレッツ・光プレミアム,フレッツ・ドットネットは、 西日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ・Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本装置のご使用にあたって、まず本ユーザーマニュアルをお読みください。基本的な取り扱い方法 をご理解いただけます。また、このユーザーマニュアルは、人身への危害や財産への損害を未然に 防ぎ、本装置を末永く安全にお使いいただくために、守っていただきたい項目を示しています。 その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みくだ さい。

▲ 鳌	生	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷
∠●♪ 高		を負う可能性が想定される内容を示しています。
<u>入</u> 注:	意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性 が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示し ています。
お願い		この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性 能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



本装置を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。正しく使用しな い場合、死亡や重傷など、人体への重大な障害をもたらすおそれがあることを 示します。

#### 本体を改造しない...

本機を改造しないでください。火災、感電および故障の原因になります。

#### 本体を分解しない...

本体を分解しないでください。火災や感電および故障の原因になります。点検、修理が必 要な場合には、本書に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

#### 濡れた手での操作はしない...

濡れた手で本体や電源アダプタ、電源プラグにはふれないでください。感電、故障の原因に なります。

#### |電源プラグは正しく差し込む...

電源プラグを差し込む際には、電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりなどが付着し ていないか確認し、ガタツキがないよう根元まで確実に差し込んでください。 また半年から1年に1回は電源プラグにほこりが付着していないことを確認してください。 接続が不完全な場合やほこりなどが付着している場合は、故障、感電、火災の原因になります。 なお、点検に関しては巻末の問い合わせ先にご相談ください。

#### 電源コードの取り扱いは丁寧に...

電源コードを傷つけたり、無理な力を加えたり、加工したりしないでください。 また、重い物を乗せたり、机などの引出しに挟んだり、引張ったり、無理に曲げたり、ねじった り、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、故障、火災、感電の原因になります。 その他のケーブルも同様です。

#### |指定された電源アダプタ以外は使用しない...

指定の電源アダプタ以外は、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。 使用する電源アダプタについては、本書の「1.製品の構成」をご覧ください。

### 電源アダプタは本装置以外には使用しない...

付属の電源アダプタは、本装置以外には絶対に使用しないでください。火災や火傷、変形、故 障の原因になります。

#### 指定された電源電圧以外で使用しない...

表示された電源電圧以外の電圧では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。

本装置を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。正しく使用しな 警告 い場合、死亡や重傷など、人体への重大な障害をもたらすおそれがあることを 示します。

### 発煙や異臭などの異常状態が発生したら...

万一、製品から発煙、異臭、発熱、異常音などの異常状態が発生した場合には、電源アダプタをコ ンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。

#### 破損したら...

万一、製品を落としたり、破損した場合には直ちに電源アダプタをコンセントから抜いて運転を停止してください。そのまま使用すると火災、感電の原因になります。

#### 水が装置内部に入ったら...

万一、内部に水やコーヒーなどが入った場合には直ちに電源アダプタをコンセントから抜いて 運転を停止してください。そのまま使用すると火災、感電の原因になります。

#### 異物が装置内部に入ったら...

万一、本体に金属類や燃えやすいものなど異物が入った場合には直ちに電源アダプタをコンセントから抜いて運転を停止してください。そのまま使用すると火災、感電の原因になります。

#### 装置上に物を置かない...

装置の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属片を 置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。

#### 装置を積み重ねて設置しない...

装置を積み重ねて設置しないでください。本装置、あるいは他の装置を積み重ねて設置した 場合、過熱し故障、火災の原因になります。

#### たこ足配線はしない...

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災、感電の原因になります。電源については、本書「9.1 仕様」をご覧ください。

#### |油、湯気、ほこり、可燃ガスが漏れる恐れがあるところで使用しない...

調理台のそばなど油飛びや湯気があたるような場所、ほこり、砂塵の多い場所、可燃ガスが 漏れる恐れがある場所で使用しないでください。本装置の周囲に留まると故障、火災、感電 の原因になります。

#### 腐食性ガスなどが発生するところで使用しない...

腐食性ガスが発生する恐れがある場所、空気中に塩分が多く含まれている所で使用しないで ください。故障、火災、感電の原因になります。

#### 雷発生時、電源プラグには触れない...

雷のときは、本装置、電源ケーブルおよびその他のケーブルに触れないでください。感電の 原因になります。

#### 梱包用のビニール袋は適切に処理する...

梱包に使用しているビニール袋は、お子さまが口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう 適切に処理してください。窒息の原因となります。

#### 必ずアースを接続する...

必ずアースを接続してください。アース接続しないで使用すると、感電の原因となります。

#### 適合するインタフェースコネクタ以外は差し込まない...

インタフェースコネクタには、適合する回線のコネクタ以外のものを絶対に差し込まないで ください。火災、感電、故障の原因となります。



正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示し ます。また本装置や本装置に接続している機器に損害を与えるおそれがあること を示します。

#### 通風孔をふさがない...

通風孔の周囲には何も置かず、十分な間隔をあけてください。通風孔をふさぐと過熱し故障・ 火災の原因になります。

#### 通風孔をふさがない...

通風孔の周囲には何も置かず、十分な間隔をあけてください。通風孔をふさぐと過熱し故障・ 火災の原因になります。

#### 布で覆ったり包んだりしない...

本装置を布等で覆ったり、包んだりしないでください。装置が加熱し、故障・火災の原因に なります。

#### ケーブルの接続、切り離し時は固定する...

ケーブル(LAN 配線や電源ケーブル等)の接続、切り離し時は本装置を固定して行なってください。

#### 保守・点検・交換時は必ず電源アダプタを抜く...

保守・点検・交換時は、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。感 電の原因になります。

#### 長期不在の時は電源アダプタを抜く...

長期間ご使用にならない場合には、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

#### 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持つ...

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜く と心線の一部が断線し発熱、火災、感電の原因になります。

#### 火気のそばには設置しない...

装置本体や電源アダプタ等を火気のそばに近づけないでください。キャビネットや電源コードの 被覆が溶けて、火災、感電の原因になる可能性があります。

#### |高温になるところには設置しない...

直射日光の当たるところや発熱器具のそばなど、温度の高いところには設置しないでください。内部の温度が上がり、故障、火災、感電の原因になる可能性があります。

#### 水や薬品のかかる場所に置かない...

水や薬品のかかる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。

#### 不安定なところには設置しない...

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。 また、本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけ がをする可能性があります。

#### |本装置を立てて設置しない...

本装置を立てて設置しないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になるほか、故障、誤動作の原因になります。

#### テレビ、ラジオなどの近傍には設置しない...

テレビ、ラジオなどの近傍には設置しないでください。テレビ、ラジオなどに近いと受信障 害の原因となる可能性があります。



正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示し ます。また本装置や本装置に接続している機器に損害を与えるおそれがあること を示します。

### 磁気を帯びた場所には設置しない...

こたつまたは家電製品等の磁気を帯びた場所には設置しないでください。

### 機器に強い衝撃や振動を与えない...

落としたりぶつけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります

### 国内のみで使用してください...

本装置は国内仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

#### ●メンテナンスに関するご注意

- 決してご自身では修理を行わないでください。故障の際は、巻末の問い合わせ先までご連絡ください。
- 本装置をご自身で分解したり改造したりしないでください。本装置の内部には、高電圧の部分および高 温の部分があり危険です。

#### 使用上のご注意

- 本装置として提供される装置本体、ユーザーマニュアル、電源アダプタなど付属品およびファームウェアは、お客さまの責任においてご使用ください。
- 本装置の使用によって発生する損失やデータの損失については、弊社では一切責任を負いかねます。また、本装置の障害の補償範囲はいかなる場合も、本装置の代金としてお支払いいただいた金額を超えることは有りません。あらかじめご了承ください。
- 本装置にて提供されるファームウェアおよび本装置として弊社より提供される更新用ファームウェア を、本装置に組み込んで使用する以外の目的で使用すること、また改変や分解を行う事は一切許可して おりません。

#### セキュリティの確保について

本装置の出荷時パスワードを変更しない場合、管理ポートから誰でも本装置の設定を行うことができます。セキュリティの面から非常に危険なため、パスワードを変更してご使用になることを強く推奨します。

#### •ネットワークセキュリティについて

本装置は西日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社が提供するハイクオリティテレビ電話サービスをご利用いただく事を前提に設計しています。

#### ●電波障害自主規制について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。 本装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

#### ●ラック搭載およびテーブルタップへの接続時のご注意

本装置をラックへ搭載する場合は、使用温度環境の管理、物理的安定性の確保、 警告 漏洩電流に対する注意が必要です。本装置のラックへの搭載は、これら知識を有 した技術者が行ってください。感電、火災などの原因となります。

- 本装置の動作保証温度・湿度を超えないよう、ラック内外の温度と湿度を管理してください。
- 本装置は、側面に通風孔を有しております。通風孔をふさがないように設置してください。
- 搭載するラックの最大積載量を考慮して搭載してください。
- 設置場所の電源供給能力を確認して設置してください。
- 本装置の電源アダプタをテーブルタップに接続する場合、テーブルタップの接地線を通して大漏洩電流が流れる場合があります。電源接続に先立ち、必ずアース接続を行ってください。電源ケーブルが分電盤に直接接続されない場合、工業用プラグを持ったテーブルタップを使用してください。(本装置の漏 洩電流は最大 0.25mAです)。

●ユーザーマニュアルの内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気付きの点がございましたら、巻末の問い合わせ先までご連絡ください。

●ユーザーマニュアルで使用している図は、一部イメージを使用しておりますので、実際とは異なる部分があります。

# 目次

1.	製品の構成	.1
2.	装置概要	. 2
3.	各部の名称	. 3
$3.1 \\ 3.2 \\ 3.3 \\ 3.4 \\ 3.5$	外観表示ランプ説明 表示ランプ説明 外部インタフェース説明 スイッチ説明 シートキー説明	3 5 6 7 8
4.	起動手順	. 9
$4.1 \\ 4.2 \\ 4.3$	設置 ケーブル類の接続 電源起動	9 10 11
5.	スイッチ設定	12
$5.1 \\ 5.2 \\ 5.3$	ネットワーク構成設定 地域設定 外部コマンドモード設定	12 12 13
6.	シートキー入力による設定・管理	13
$\begin{array}{c} 6.1 \\ 6.2 \\ 6.3 \\ 6.4 \\ 6.5 \\ 6.6 \\ 6.7 \\ 6.8 \\ 6.9 \\ 6.1 \end{array}$	ロックの解除 メニュー カンタンセッテイ(1:1) ソウチセッテイ デンワチョウ チャクシンリレキ シュドウセツゾク シュドウセツダン ソウチジョウタイ	13 14 15 16 19 20 21 22 22 23
7.	Webフラワサによる設定・管理	24
7.1 7.2 7.3 7.4	Webブラウザの接続 ユーザ名、パスワードの入力 メニュー ホーム画面	24 25 26 27
7.5 7.6 7.7	装置設定 電話帳 差信履歴	28 37 40
7.8 7.9 7.1	<ul> <li>1 回復進</li> <li>手動接続</li> <li>装置状態</li> <li>0 保守</li> </ul>	41 42 45
7.1 7.1 7.1	1 オプション 2 Webブラウザの終了 3 接続先の装置を管理	49 53 53

8. 外部コマンドモード	54
<ul><li>8.1 外部コマンドモード</li><li>8.2 外部コマンドモードのATコマンド</li></ul>	
<ul><li>8.3 外部コマンドモード時のWeb操作</li><li>9. 付録</li></ul>	
9.1 仕様 9.2 本装置の初期化について	
10. 保証規定	61

# 1. 製品の構成

本装置には、以下の物品が添付されています。開封時によくご確認ください。

—————————————————————————————————————								
項番	品名	数量	備考					
1	本体	1						
2	専用電源アダプタ	1	Model No:UIA324-12					
3	ゴム足	4						
4	UTP ケーブル	1	3m					
5	ユーザーマニュアル	1	本書					

構成品一覧





本体

<mark>※</mark>添付品



※万一、添付品に足りないものや取扱説明書(本書)に乱丁・落丁などがございましたら、

巻末の問い合わせ先までご連絡ください。

### 2. 装置概要

本装置は,西日本電信電話株式会社(NTT西日本)、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)が提供しているハイクオリティテレビ電話サービスを利用しイーサネット VPN をフレッツ回線で実現するための装置です。

なお対向装置として必ず同一の Flebo ダイヤル FNX0710 をご使用ください。

本装置をご使用いただくために必要な回線・サービスは地域により以下5つの組合せのいずれかに なります。

	必要回線・サービス
NTT西日本	フレッツ・光プレミアム
エリア	Bフレッツ+フレッツ・V6 アプリ
	フレッツ ADSL+フレッツ・V6 アプリ
NTT東日本	Bフレッツ+フレッツ・ドットネット+FdN ナンバー
エリア	フレッツ ADSL+フレッツ・ドットネット+FdN ナンバー

※1 回線・サービスのご利用には別途NTT西日本、NTT東日本へのお申し込みが必要です。

本装置で構築する VPN は以下のような特徴があります。

- ・イーサネットフレームをそのまま透過しますので、IP ルータのような複雑なネットワーク設計が不要です。
- ・レイヤ3プロトコルに依存しないため、IP 以外のプロトコルでも通信が可能です。
- ・電話のように9桁のダイヤル No.の設定にて、簡単に VPN が構築できます。
- ・装置間(WAN 側)にてやり取りされる VPN 通信フレームはNTT西日本およびNTT東日本の閉域 網を流れるため安全です。さらにユーザデータを暗号化し転送します。
- ・日本全国どこからでも VPN 構築ができます。
- ・電話のように1:1接続が基本構成となりますが、ディップスイッチにより1台をセンター装置 (親機)、残りを拠点装置(子機)とすることで多拠点接続が可能です。センター装置の設置場所 がNTT西日本エリアでは最大15対地、NTT東日本エリアでは最大5対地を接続できます。 拠点装置(子機)間通信の際はセンター装置にて折り返すことで通信を可能にしています。



※センター装置(親機)では複数のダイヤル No. を登録できるため、拠点装置(子機)を含め接続先ダイヤ ル No. を設定する際は自局ダイヤル No. を対応付け(ひも付け)するようにしています。

<sup>※2</sup> 装置1台で複数のダイヤル No.を使用する場合はNTT西日本ではテレビ電話機能ライセンスプ ラス、NTT東日本ではFdNナンバーの追加契約が必要になります。

## 3. 各部の名称

### 3.1 外観



装置インタフェース面(前面)図



### 3.2 表示ランプ説明

FNX0710 を起動し、定常運転状態に入ったときのランプ表示には下表のような意味があります。

	名称	表示色	状態	意味
	DOWED	经	点灯	装置に電源が投入されている事を示します。
		邗水	消灯	装置に電源が投入されていない事を示します。
		±	点灯	装置が異常を検出した事を示します。
	FAIL	小	消灯	装置が正常である事を示します
			点灯	全登録拠点との間で VPN 通信障害が発生している事を示し
				ます。
3	VPN	橙	消灯	VPN が正常である事を示します。
			点滅	一部の登録拠点との間で VPN 通信障害が発生している事を
				示します。
			橙点灯	10M でリンクが確立した事を示します。
			緑点灯	100M でリンクが確立した事を示します。
4	LINK/SPD/ACT	緑/橙	消灯	ポートがリンクしていない事を示します。
			点滅	通信中はそれぞれのリンク速度に応じた表示色で点滅しま
				す。
			点灯	ポートが全二重(Full-Duplex)でリンクしている事を示し
6	FDX	緑		ます。
J			消灯	ポートがリンクしていないか、または半二重
				(Half-Duplex)でリンクしている事を示します。
6	鳫生	纪	点灯	優先スイッチが"ON"側に設定されている事を示します。
0	愛儿	ησκ	消灯	優先スイッチが"OFF"側に設定されている事を示します。
			点灯	キーロック解除後のシートキー操作時、入力可能なキーを
				点灯により示します。ダイヤルキー及びクリアキーは除き
	シートキー	緑		ます。
			消灯	キーロック解除後のシートキー操作時、入力可能でないキ
				ーを示します。ただしダイヤルキー及びクリアキーは入力
				可能でも消灯します。

※1 電源起動時(装置初期化中)のランプ状態

装置に電源が投入され、装置内部の設定が終了し動作状態になるまでの間、POWER ランプ(点灯)、FAIL(消灯)、VPN ランプ(点滅)、優先ランプを除く各ランプは周期的に点滅状態となります。

※2 工場出荷状態で起動した場合、起動完了時のランプ状態は以下のようになります。

POWER	: 緑点灯	(電源投入状態)
FAIL	: 消灯	
VPN	: 消灯	(VPN 状態正常:他拠点が登録されていないため)
シートキー	: 消灯	(キーロック状態)

※3 ファームウェアアップデート中のランプ状態

POWER ランプ点灯、FAIL ランプ消灯、VPN ランプ点滅、WAN・LAN・管理ポートのLINK/SPD/ACT および FDX ランプは周期的に点滅状態となります。

# 3.3 外部インタフェース説明

	12722 7	<b>\D/07</b> ]	
	名称	コネクタ種別	用途
8	WAN	モジュラ コネクタ (RJ-45)	B フレッツ、フレッツ ADSL などの宅内装置等と接続する ためのコネクタです。 通信モードは Auto-negotiation になっています。 またピンアサインは Auto-MDI/MDI-X 対応です。
9	LAN 1~4	モジュラ コネクタ (RJ-45)	ユーザLAN への接続用コネクタです。 通信モードは Auto-negotiation になっています。 またピンアサインは Auto-MDI/MDI-X 対応です。
10	管理	モジュラ コネクタ (RJ-45)	装置管理用の端末を接続するためのコネクタです。 通信モードは Auto-negotiation になっています。 またピンアサインは Auto-MDI/MDI-X 対応です。
1)	USB	USB2. 0	USB メモリ専用ポートです。ファームウェアを保存した USB メモリを差し込むことによりアップデートができま す。またログやカルテ(装置情報)を差し込んだUSB メモリ に保存することができます。 USB メモリは装置が動作状態でも差込み・取外しできま す。ただし、ファームウェアアップデート中やログ、カル テファイルを USB メモリに書き込み中には絶対に取外さ ないでください。
12	DC12V	DC ジャック	装置本体に電源(DC12V)を供給するためのコネクタです。 必ず付属の電源アダプタを接続してご使用ください。
13	FG 端子	M4 ネジ	アース接地用の端子です。本体に取り付けている M4 ネジ を使用してアース線を取り付けてください。なおアース線 はお客様にてご用意ください。

3.4	スイ	ッチ説明				
		スイッチ名			用途	
	<b>(14)</b>	優先	LAN 1 C こりベエポタ 優うす でたち。	Dポート優先" OF イッチが" OF N 1ポートの 優先は" OFF" 優時機れます イッタグ ユー AN タグ ユー	機能の有効/無効を切り替えるスイッチです。 № 側に設定されている場合、ポート優先機能が有効にな 受信パケットが他のLAN 2,3,4 ポートの受信パケットに比 れます。 № 側に設定されています。 № 効にした場合は、LAN ポートから受信したフレームの VLAN № のでご注意ください。 にした場合は、LAN ポートから WAN へ転送するパケットの -ザプライオリティビットが 4~7 のパケットは優先されま	
		DIP スイッチ	Bit 1	ON OFF 【初期值】	<ul> <li>管理ポートのネットワーク設定、およびパスワードを以下の初期値に戻します。         <ul> <li>IPアドレス</li> <li>192.168.0.1</li> <li>サブネットマスク</li> <li>255.255.255.0</li> <li>デフォルトゲートウェイ</li> <li>0.0.0.0 ※</li> <li>ユーザ(ログイン)名</li> <li>admin</li> <li>パスワード</li> <li>admin</li> </ul> </li> <li>管理ポートのネットワーク設定、パスワードの変更が有</li> <li>効になります。通常はこちらでお使いください。</li> </ul>	
				ON	センター装置(親機)として動作します。	
			Bit2	0FF 【初期値】	拠点装置(子機)として動作します。	
	15		Bit3 -	ON	NTT東日本管内で使用する。パスワードによる認証は 不要。またセンター装置の場合、自局1ダイヤル No.に 対し1拠点が接続できます。	
				0FF 【初期値】	NTT西日本管内で使用する。パスワードによる認証を 行う。またセンター装置の場合、自局1ダイヤル No.に 対し最大6まで拠点が接続できます。	
			Bit4 ∼7	ON OFF 【初期値】	OFF 固定でご使用ください。	
			Bit8	ON	外部コマンドモードとして動作します。 Web ブラウザでの一部操作および、シートキーの操作が行 えません。	
				0FF 【初期值】	通常モードとして動作します。	

※デフォルトゲートウェイは出荷時ブランクになっています。Bit1 操作後は 0.0.0 になります。

# 3.5 シートキー説明

	キー名	表示	説明
(16)	スクロー ルキー	$\triangleleft^{\bigtriangleup}_{\bigtriangledown} \triangleright$	カーソルを上下左右に移動したり、上下に選択したい項目へ移動する ときに使います。
(17)	決定キー		項目を選択するとき、操作を実行するときに使います。
(18)	戻るキー	戻る	ーつ前のメニューに戻るときに使います。
(19)	メニュー キー	メニュー	サブメニュー(TOP メニュー/ログアウト/導通確認)を表示したり、 電話帳入力時にサブメニュー(登録/編集/削除)を表示します。
(20)	通話キー	P	手動接続にて接続を実行するときに使います。
(21)	クリア キー	С	入力した文字を削除するときに使います。
(22)	切断キー		手動切断にて切断を実行するときに使います。
		1あ	1を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時1⇒;⇒,⇒!⇒? 接続先の名前入力時 <b>ア⇒イ⇒ウ⇒エ⇒オ</b>
		2 か abc	2を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時2⇒a⇒b⇒c⇒A⇒B⇒C 接続先の名前入力時 <b>カ⇒キ⇒ク⇒ケ⇒コ</b>
		3 さ def	3を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時3⇒d⇒e⇒f⇒D⇒E⇒F 接続先の名前入力時サ⇒シ⇒ス⇒セ⇒ソ
		4 た ghi	4を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時4⇒g⇒h⇒i⇒G⇒H⇒I 接続先の名前入力時 <b>タ⇒チ⇒ツ⇒テ⇒ト</b>
		5 な jkl	5を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時5⇒j⇒k⇒l⇒J⇒K⇒L 接続先の名前入力時ナ⇒ニ⇒ヌ⇒ネ⇒ノ
(23)	ダイヤル キー	6 It mno	6を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時6⇒m⇒n⇒o⇒M⇒N⇒O 接続先の名前入力時ハ⇒ヒ⇒フ⇒ヘ⇒ホ
		フま pgrs	7を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時7⇒p⇒q⇒r⇒s⇒P⇒Q⇒R⇒S 接続先の名前入力時マ⇒ミ⇒ム⇒メ⇒モ
		8 <sup>や</sup> tuv	8を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時8⇒t⇒u⇒v⇒T⇒U⇒V 接続先の名前入力時ヤ⇒ユ⇒3
		9 <sup>ら</sup> <sub>wxyz</sub>	9を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。 パスワード入力時9⇒w⇒x⇒y⇒z⇒W⇒X⇒Y⇒Z 接続先の名前入力時 <b>ラ</b> ⇒リ⇒ル⇒レ⇒ロ
		0わ	0を表示。以下の場合キーを繰り返し押して目的の文字を表示。  パスワード入力時0⇒^⇒⇒:⇒ー  接続先の名前入力時 <b>ワ⇒ヲ⇒ン</b>
		*	キーを繰り返し押して以下の文字を表示。 接続先の名前入力時 <b>ァ⇒ィ⇒ゥ⇒ェ⇒オ</b>
		#	キーを繰り返し押して以下の文字を表示。 接続先の名前入力時 <b>ャ⇒ュ⇒ョ</b>

### 4. 起動手順

### 4.1 設置

本装置は卓上および壁面設置が可能です。

放熱のため通風孔のある面および上面には十分なスペースをあけてください。

(1) 卓上に設置する場合

卓上に設置する場合には底面を下にして平らな場所に設置してください。必要に応じて添付しているゴム 足を底面の4箇所に貼り付けてご使用ください。



(2) 壁面に設置する場合

以下に壁面に設置する場合の手順を説明します。

 ①本装置の通風の妨げになるようなものが配置されない場所であることを確認してください。また壁面の 強度が十分であることを確認ください。

②壁面にお客様にて用意した固定用ネジを 100mm間隔で取付ます。ネジの頭の径はφ5mm より大きくφ 11mm 以下、ネジの頭の厚みは3mm 以下のものをご使用ください。

③ネジの頭を壁取付け穴に通し、本装置を引っ掛けます。本装置が確実に固定されていることを確認して ください。



### 4.2 ケーブル類の接続

本体モジュラコネクタに各ケーブルを接続してください。フレッツ接続用機器はWANポート、ユーザLAN 接続機器はLANポート、管理用端末は管理ポートへそれぞれ接続してください。







回線を切り替える際は、必ず電源を切って下さい。 電源を切らずに回線を切り替えても、通信がすぐに復帰できません。

### 4.3 電源起動

 (1) はじめに装置背面のM4サイズFG端子(装置底面図<sup>(1)</sup>)に市 販のアース線を接続し、反対の端をアースに接地します。
 (図①参照)



(3) プラグ抜け防止のため、DC コードの根元を電源コード用 クランプ(装置インタフェース面図20)内に入れて固定してください。(図3参照)









図③ 電源コード固定状態

(4) 電源起動後 20 秒ほどで、下のように液晶ディスプレイが"ソウチキドウチュウ"から"日付 表示"になることを確認してください。



その後 以下2つのいずれかの方法により本装置の設定を行ってください。

- ・液晶ディスプレイを見ながらシートキーから設定。
- ・管理ポートに接続した端末から Web ブラウザを起動し、装置管理用 Web ページに接続し設 定。

外部コマンドモードで起動した場合は、下のような液晶ディスプレイ表示になります。

シートキーでの操作は行なえません。

<カ゛イフ゛コマント゛モート゛>	<flebo ダイヤル=""></flebo>
KEY ソウサハ オコナエマセン	2008/XX/XX XX:XX
	エリア : NTTxxx
DIPSW ヲ カクニンシテクタ゛サイ	ソウチ : <b>xxxx</b>

〈起動後 2つの画面が交互に切り換わる〉

5. スイッチ設定

5.1 ネットワーク構成設定

ネットワーク構成にあわせ、本装置裏面のディップスイッチ Bit2 によりセンター装置(親機)または 拠点装置(子機)に設定します。(出荷時設定 0FF:拠点装置)

センター装置(親機)、拠点装置(子機)は表5のように使い分けます。 なお センター装置は 最大5ダイヤル No. をもつことができます。 センター装置がNTT東日本エリアに設置されている場合は 各ダイヤル No. に1台の拠点装置(子機)を接続することができます。 NTT西日本エリアに設置されている場合は1つのダイヤルNo.



に6台までの拠点装置(子機)が接続可能で論理上30(5ナンバー×6)台の拠点装置が接続できます。 ただし本装置では Max. 15台に制限しています。

1:多構成で拠点装置(子機)どうしの通信の際はセンター装置(親機)にて自動で折り返します。

構成	構成図	設定	接続
		子機 - 子機	O 暗号化通信
1:1		親機 - 子機	〇 暗号化は親機
			の設定に依存
	親機または子機 子機 子機	親機 - 親機	×接続できません
1:多	子機           子機           子機           子機           子機           子機           子機	親 機 一 子 機 複 数	〇 子機間通信でも暗 号化は親機の設定 に依存
		親機2台以上	×接続できません

表5 ネットワーク構成

### 5.2 地域設定

本装置裏面のディップスイッチ Bit3 により本装置を設置する地域がNTT西日本エリアであるか NTT東日本エリアであるかを地域にあわせて設定してください。(出荷時設定 OFF:NTT西日本エ リア) DIPスイ

エリアにより設定時に確認か必要な事項が異なります。		.   6
NTT西日本	ダイヤル No. およびパスワード	
NTT東日本	ダイヤル No.のみ パスワード不要	
	※ただし SIP サーバアドレス変更時はアドレス入力必要	

ディップスイッチをON(NTT東日本エリア)にした場合、設定時

パスワードを入力する必要はありません。

### 5.3 外部コマンドモード設定

本装置の管理ポートに SSH でログインし AT コマンドにより発信や着信を行う場合に設定してください。8項参照。(出荷時設定 OFF:外部コマンドモード OFF)



6. シートキー入力による設定・管理

注意
 設定操作中に装置の電源を0FFしますと、設定内容が消え工場出荷状態に戻る
 場合があります。設定作業中は絶対に装置の電源を0FFしないでください。

### 6.1 ロックの解除

/ 注意

本装置は起動時およびキー入力が5分以上ない場合には、キー入力がロック状態になります。液晶ディ スプレイに以下の画面が交互に表示されます。



ロックを解除するにはシートキーから以下のナンバーを入力しログインしてください。 ロック解除ナンバー: 1234 (出荷時設定)

> 本装置のロック解除ナンバーを変更しない場合、シートキーから誰でも本装置の設定を 行うことができます。セキュリティの面から非常に危険なため、ロック解除ナンバーを 変更してご使用になることを強く推奨します。ナンバーの変更は、「ソウチセッテイ」 - 「LCDセッテイ」から行ってください。

> またロック解除ナンバーを4回連続して入力ミスした場合、約10分間ログインできな くなります。

6.2 メニュー

液晶ディスプレイに表示されるメニューは以下のようになっています。

設定の手順として、まず自局ダイヤル No. 設定(「ソウチセッテイ」--「ダイヤル No. セッテイ」)を実施してください。接続先ダイヤル No. 設定(デンワチョウまたはシュドウセツゾク)はその後に実施してください。

第1階層	第2階層	内容
カンタンセッテイ	-	対話形式で自局の設定から接続先の設定、自動接続、自動着信の設定を
(1:1)		登録することができます。(拠点(子機)設定のみ表示)
6.3参照		
ソウチセッテイ	ダ イヤル No. セッテイ	自局のダイヤル No.・パスワードを設定します。センター(親機)設定で
6.4参照		は最大5つまで設定できます。NTT東日本の設定の場合はパスワード
		の入力は不要です。
	ポートセッテイ	WAN・LAN・管理ポートの通信モード、オート/固定設定をします。
	カレンタ゛ーセッテイ	日付・時刻設定をします。
	アンコ゛ウセッテイ	WAN 側の暗号化設定を行います (センター(親機)設定時のみ表示)。
	ルーフ。ケンシュツセッテイ	WAN 側と LAN 側にループが検出された場合のパケット処理設定をしま
	カンリホ゜ートヤッテイ	
	1 CD #v=1	シートキーロック解除ナンバーを設定します。
デンワチョウ	_	
/ ノ / / ヨ /		1900元表色のメイベルNO.、1900末件の改定を110.より。
0.0 多点 チャクシンルレキ		
		「自己履歴を扱いしより。50日よく休行してより。よに履歴がら于勤後    編や雷託嶋登録ができます
0.0 ジェ シュ ドウセッバク		「祝や電品報豆球ができるう。」 雷託帳で白動接続設定にしていたい接続先を選択 またけ接続先のダイ
- 7 6 7 参昭		電品級で自動換続設定にしているい換続光を送所なたは換続光のデー ヤルNo を入力し接続します。
シュドウセツダン	_	接続先装置とのセッションを切断します。センター(親機)設定で複数の
6.8参照		拠点と接続している場合は、拠点ごとに切断が可能です。
ソウチジョウタイ	セツソ゛クシ゛ョウタイ	接続先との状態を*(SIP セッション NG)、- (設定なし)、× (SIP セ
6.9参照		ッションは OK だが VPN が NG)、〇 (VPN OK) で示します。
	イーサネットホ゜ートシ゛ョウタ	WAN、LAN、管理ポートの通信モード(10/100M,Full/Half Duplex)を表示
	1	します。
	ソウチシ゛ョウホウ	MAC アドレス、シリアル番号、システムバージョンを表示します。
	<b>ロ</b> ク゛	ログを1件づつ表示します。
ホシュ	ファームアッフ <sup>°</sup> デート	USB メモリに保存されたファームウェアを読み込みアップデートしま
6.10参照		す。
	ロク゛ホソ゛ン	USB メモリへ装置のログを保存します。
	カルテホソ゛ン	メーカへ問い合わせの際に使用する装置情報(カルテ)を USB メモリへ
		保存します。
〈サブメニュー〉	TOP X=1-	TOP メニューにジャンプします。
	ወኃ  ፖሳኑ	ログアウトします。再びログインするにはシートキーロック解除ナンバ
		ーの入力が必要です。
	ト゛ウツウカクニン	接続先装置との導通を OK/NG で確認できます。センター(親機)設定で複
		数の拠点と接続している時、1箇所でも障害がある場合は NG になりま
		す。
	ኑሳロク	選択した項を新規入力します。
	ヘンシュウ	選択した項を編集します。
	サクシ゛ョ	選択した項を削除します。
L		

### 6.3 カンタンセッテイ(1:1)

(1)カンタンセッテイ(1:1)

<b>カンタンセッテイ(1:1)</b> ソウチ セッテイ デ <sup>*</sup> ンワチョウ チャクシンリレキ	画面よりカンタンセッテイ(1:1)を選択し、決定キー●を押 します。
[シ <b>* キョク セッテイ] (X/X)</b> ダ* イヤル No. ヲ ニュリョク シテクタ*サイ >xxxxxxxx	自局ダイヤル No. を入力します。 入力後、決定キー●を押します。 右上画面表示番号:西日本(1/6)東日本(1/5)
[ジキョク セッテイ] (X/X) パスワードヲ ニュリョク シテクダサイ >xxxxxxx	パスワード(半角英数8文字)を入力し決定キー●を押しま す。 右上画面表示番号:西日本(2/6)東日本 本画面表示なし
<b>[セッソ゛クサキ セッテイ] (X/X)</b> ナマエヲ ニュウリョクテクタ゛サイ >xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	<ul> <li>接続先の名前を入力します。</li> <li>入力後、決定キー●を押します。</li> <li>15文字まで入力することができます。</li> <li>空白(スペース)は使用できません。</li> <li>右上画面表示番号:西日本(3/6)東日本(2/5)</li> </ul>
[セッソ・ クサキ セッティ]         (X/X)           ダ イヤル No. ヲ         ニュウリョクテクダ サイ           >xxxxxxxxx         >	接続先のダイヤル No. を入力します。 入力後、決定キー●を押します。 右上画面表示番号:西日本(4/6)東日本(3/5)
[セッソ゛クサキ セッテイ] (X/X) シ゛ト゛ウテキニ セツソ゛クシマスカ? ハイ イイエ	接続先への自動接続を設定します。 △▽キーで選び決定キー●押すことで許可、禁止をするこ とができます。 右上画面表示番号:西日本(5/6)東日本(4/5)
[セッソ゛クサキ セッテイ] (X/X) チャクシンヲ キョカシマスカ? ハイ イイエ	接続先からの自動着信を設定します。 △▽キーで選び決定キー●押すことで許可、禁止をするこ とができます。 画面表示番号:西日本(6/6)東日本(5/5)
<b>[カクニン]</b> セッテイヲ トウロクシマスカ? ハイ イイエ(セッテイハヲキ)	ハイを選択し決定キー●押すと設定が完了します。 イイエを選択すると、「セッテイチュウシカクニン」画面が、 表示されます。
<b>[サフ゛メニュー]</b> 1.モト゛ル 2.チュウシ	設定中にメニューボタンを押すとサブメニューが表示され、△▽キーで選び決定キー●押すことで設定の中止、前の画面へ戻ることができます。 チュウシを選択した場合、「セッテイチュウシカクニン」画面が表示されます。

<b>[セッテイ チュウシ カクニン]</b>	△▽キーで選び決定キー●を押すことで設定の中止、
セッテイヲ チュウシシマスカ?	前の画面へ戻ることができます。
ハイ	ハイを選択して、設定を中止した場合は、今まで入力して
イイエ	いた値は破棄されます。

### 6.4 ソウチセッテイ

### (1)ダイヤル No. セッテイ

$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	自局に設定可能なダイヤル No. 登録数が表示されます。セン ター(親機)設定では1~5:が表示されます。△▽キーで 登録するナンバーを選んでください。
<b>[サブ`メニュー]</b> トウロク ヘンシュウ サクシ゛ョ	メニューキーを押しサブメニューを表示させます。 トウロクを選び決定キー●を押します。 また入力後 修正をする場合はヘンシュウ、削除する場合は サクジョを選択してください。
[ジ <sup>*</sup> キョク セッテイ] (X/X) ダ <sup>*</sup> イヤル No. ヲ ニュリョク シテクタ <sup>*</sup> サイ >xxxxxxxx	自局ダイヤル No. を入力します。 入力後、決定キー●を押します。 右上画面表示番号:西日本(1/2)東日本(1/1)
[ジ <sup>*</sup> キョク セッテイ] (X/X) ハ <sup>°</sup> スワート <sup>*</sup> ヲ ニュリョク シテクタ <sup>*</sup> サイ >xxxxxxxx	パスワード(半角英数 8 文字)を入力し決定キー●を押しま す。 右上画面表示番号:西日本(2/2)東日本 本画面表示なし
<b>[カクニン]</b> セッテイヲ トウロクシマスカ? ハイ イイエ(セッテイヲハキ)	ハイを選択し決定キー●押すと設定が完了します。 イイエを選択すると、「セッテイチュウシカクニン」画面が 表示されます。
<b>[サフ゛メニュー]</b> 1.モト゛ル 2.チュウシ	設定中にメニューボタンを押すとサブメニューが表示され、△▽キーで選び決定キー●押すことで設定の中止、前の画面へ戻ることができます。 チュウシを選択した場合、「セッテイチュウシカクニン」画面が表示されます。
<b>[セッテイ チュウシ カクニン]</b> セッテイヲ チュウシシマスカ? ハイ イイエ	△▽キーで選び決定キー●を押すことで設定の中止、 前の画面へ戻ることができます。 ハイを選択して、設定を中止した場合は、今まで入力して いた値は破棄されます。

(2)ポート セッテイ		
WAN ホ°ート セッテイ           LAN1 ホ°ート セッテイ           LAN2 ホ°ートセッテイ           LAN3 ホ°ートセッテイ	WAN ポート、LAI 設定を行えま △▽キーで割	N1~4ポート、管理ポートの通信モード設定および MDI モす。 &定するポートを選び、決定キー●で選択します。
["ウウシン モード] AUTO *← *は現在 100M FULL 100M HALF	の設定を表示	△▽キーで設定するモードを選び、決定キー●で選 択します 出荷時設定は Auto-Negotiation、Auto-MDI になっ ています。

### (3) カレンダーセッテイ

[カレンタ <sup>*</sup> ー セッテイ] Date Time	装置の日時を設定します。 △▽キーで Date、Time を選び、決定キー●で選択します。	
-カレンタ <sup>×</sup> - セッテイ- [Date(YYYYMMDD)] >20080801 <b>-</b> 2008 年 8 月	1日を示します	Date(日付) 表示を編集し決定キー●で確定しください。
-カレンダー セッテイ- [Time(HHMMSS)] >152030← 15時20分30	秒を示します	Time(時刻) 表示を編集し決定キー●で確定しくだ さい。
カレンタ <sup>*</sup> ー セッテイ ヲ ヘンコウ シマシタ ナニカ KEY ヲ オシテクタ <sup>*</sup> サイ	設定が変更る	されたことを示す表示が現れます。

(4)アンゴウ セッテイ

[アンコ゛ウ セッテイ] アンコ゛ウ ツウシンスル * アンコ゛ウ ツウシンシナイ	センター(親機)設定時に表示し、暗号設定の ON/OFF が可能です。 △▽キーで暗号通信する、しないを選び決定キー●で確定します。 出荷時は暗号化するになっています。
アンコ゛ウセッテイ ヲ ヘンコウ シマシタ	設定が変更されたことを示す表示が現れます。
ナニカ <b>KEY</b> ヲ オシテクタ゛サイ	

(5)ループケンシュツ セッテイ

[ルーフ゜ケンシュツ セッテイ] ユウコウ * ムコウ	WAN 側と LAN 側間がループしている場合に検出した当該パケット の転送を停止させストームの発生を防ぎます。△▽キーでループ 検出有効、無効を選び決定キー●で確定します。 出荷時設定は有効になっています。
ループ セッテイ ヲ ヘンコウ シマシタ ナニカ KEY ヲ オシテクタ゛サイ	設定が変更されたことを示す表示が現れます。

(6)カンリポート セッテイ

-カンリホ <sup>°</sup> ート セッテイ- [IP アト <sup>°</sup> レス] <xxx.xxx.xxx.xxx xx=""> &gt;192.168.0.1/24</xxx.xxx.xxx.xxx>	に設定します。 IP アドレスを編集し決定キー●で確定しください。なお、アド レス入力時 ". "および"/"は #キーを使用ください。
·	出荷時設定は IP アドレス 192.168.0.1/24、デフォルトゲート
	ウェイアドレス 0.0.0.0 になっています。
-カンリホ゜ート セッティー	デフォルトゲートウェイアドレスを入力し決定キー●で確定しく
[デフォルトゲートウェイ]	ださい。
>	

(7) LCDセッテイ

[LCD セッテイ] ロック No.	LCD 画面のロック解除ナンバーの設定ができます。 決定キー●で選択します。
[LCD ロック No. ニュウリョク] シ゛カイ ロク゛イン カラ ユウコウ >	ロック解除ナンバーは4桁の数字を入力し、決定キー●で確定し ます。なお4桁すべて同じ番号は設定できません。
ロックナンハ <sup>*</sup> ー ヲ ヘンコウ シマシタ ナニカ KEY ヲ オシテクタ <sup>*</sup> サイ	設定が変更されたことを示す表示が現れます。

# 6.5 デンワチョウ

接続先のダイヤル No. および接続条件を登録します。最大50件の登録が行なえます。

なお、本操作前に 6.3(1)ダイヤル No. セッテイを実施してください。

No.1 No.2 No.3 No.4	センター(親機)設定の場合は No.1 から入力してください。 △▽キーで No.1 を選び、メニューキーを押してください。
<b>【サブ メニュー】</b> トウロク ヘンシュウ サクシ゛ョ	メニューキーを押しサブメニューを表示させます。 トウロクを選び決定キー●を押します。 また入力後 修正をする場合はヘンシュウ、削除する場合は サクジョを選択してください。
<b>[セッソ゛クサキ セッテイ] (X/X)</b> ナマエヲ ニュウリョクテクタ゛サイ >xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	接続先の名前を設定します。 入力後、決定キー●を押します。 15文字まで入力することができます。 空白(スペース)は使用できません。 右上画面表示番号:センター設定(1/5)拠点設定(1/4)
[セッソ`クサキ セッテイ]         (X/X)           ダ゛イヤル No. ヲ           ニュウリョクテクタ゛サイ           > xxxxxxxxxx	接続先のダイヤル No. を入力します。 入力後、決定キー●を押します 右上画面表示番号:センター設定(2/5)拠点設定(2/4)
[セッソ <sup>*</sup> クサキ セッテイ] (X/X) シ キョクタ イヤル No. センタク シテイナシ 1:	装置設定がセンター(親機)設定になっている場合、 △▽キーで選び決定キー●押すことで自局ダイヤルを選択 することができます。 右上画面表示番号:センター設定(3/5)拠点設定なし
[セッソ゛クサキ セッテイ] (X/X) ジ゙ト゛ウテキニ セツソ゛クシマスカ? ハイ イイエ	接続先への自動接続を設定します。 △▽キーで選び決定キー●押すことで許可、禁止をするこ とができます。自動接続をハイ(許可)にすると接続先と接 続できるまで接続動作を繰り返します。接続先に装置が設 置されていない場合はイイエ(禁止)に設定してください。 右上画面表示番号:センター設定(4/5)拠点設定(3/4) 自動接続が「許可」で設定出来ない場合は、設定画面が表 示されません。※
[セッソ・ケサキ セッテイ] (X/X) チャクシンヲ キョカシマスカ? ハイ イイエ	<ul> <li>接続先からの着信を許可する/しないの設定をします。</li> <li>△マキーで選び決定キー●押すことで許可、禁止をすることができます。</li> <li>右上画面表示番号:センター設定(5/5)拠点設定(4/4)</li> <li>着信設定が「許可」で設定出来ない場合は、設定画面が表示されません。※</li> </ul>
[カクニン] セッテイヲ トウロクシマスカ? ハイ イイエ(セッテイハキ)	ハイを選択し決定キー●押すと設定が完了します。 イイエを選択した場合、「セッテイチュウシカクニン」画面 が表示されます。

<b>[サブ メニュー]</b> 1.モト゛ル 2.チュウシ	設定中にメニューボタンを押すとサブメニューが表示さ れ、△▽キーで選び決定キー●押すことで設定の中止、前 の画面へ戻ることができます。 チュウシを選択した場合、「セッテイチュウシカクニン」画 面が表示されます。
<b>[セッテイ チュウシ カクニン]</b>	△▽キーで選び決定キー●を押すことで設定の中止、
セッテイヲ チュウシシマスカ?	前の画面へ戻ることができます。
ハイ	ハイを選択して設定を中止した場合は、今まで入力してい
イイエ	た値は破棄されます。

※自局ダイヤル No. を「指定なし」とした場合、拠点設定で自局ダイヤル No. の設定がされていない場合は、 自動接続/着信設定の画面は表示されません。

※装置/ダイヤル No. 当たりの接続可能セッションに空きが無い場合、自動接続設定の画面は表示されません。

### 6.6 チャクシンリレキ

装置の着信履歴を表示します。履歴は約15分ごとに不揮発性メモリに書き込まれます。

YY/MM/DD : xxxxxxxx YY/MM/DD : xxxxxxxxx YY/MM/DD : xxxxxxxxx YY/MM/DD : xxxxxxxxx YY/MM/DD : xxxxxxxxx <b>[サブ*メニュー]</b> トウロク サクジ゛ョ TOP メニュー	着信履歴を表示します。30件まで日付と接続先ダイヤル No.を表示できます。 履歴に表示されている項目を△▽キーで選びます。 メニューボタンを押して△▽キーでトウロクを選び決定キ ー●押します。
[tツ)' クサキ セッテイ]       (X/X)         ナマエヲ ニュウリョクテクタ サイ         >xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx         [tツ)' クサキ セッテイ]       (X/X)         ジ ト ウテキニ セツソ クシマスカ?         ハイ         イエ	<ul> <li>接続先の名前を設定します。</li> <li>入力後、決定キー●を押します。</li> <li>15文字まで入力することができます。</li> <li>空白(スペース)は使用できません。</li> <li>右上画面表示番号:(1/3)</li> <li>接続先への自動接続を設定します。</li> <li>△▽キーで選び決定キー●押すことで許可、禁止をすることができます。</li> <li>右上画面表示番号:(2/3)</li> </ul>
[セッソ <sup>・</sup> クサキ セッテイ] (X/X) チャクシンヲ キョカシマスカ? ハイ イイエ [カクニン] セッテイヲ トウロクシマスカ? ハイ イイエ(セッテイハキ)	接続先からの着信を許可する/しないの設定をします。 △▽キーで選び決定キー●押すことで許可、禁止をするこ とができます。 右上画面表示番号:(3/3) ハイを選択し決定キー●押すと設定が完了します。 イイエを選択すると、「セッテイチュウシカクニン」画面が、 表示されます。

<b>[サブ`メニュー]</b> 1.モト <sup>`</sup> ル 2.チュウシ	設定中にメニューボタンを押すとサブメニューが表示され、△▽キーで選び決定キー●押すことで設定の中止、前の画面へ戻ることができます。 チュウシを選択した場合、「セッテイチュウシカクニン」画面が表示されます。
<b>[セッテイ チュウシ カクニン]</b>	△▽キーで選び決定キー●を押すことで設定の中止、
セッテイヲ チュウシシマスカ?	前の画面へ戻ることができます。
ハイ	ハイを選択して設定を中止した場合は、今まで入力してい
イイエ	た値は破棄されます。

### 6.7 シュドウセツゾク

電話帳で自動接続設定にしていない接続先を選択、または接続先ダイヤル No. を入力して接続を行います。 なお、本操作前に 6.3(1)ダイヤル No. セッテイを実施してください。

VLAN マッピングモードの時は、電話帳に登録のある接続先ダイヤル No. にのみ接続が行なえます。

-シュト゛ウセツ ソ゛ク- [シ゛キョク タ゛イヤル No] >xxxxxxxxx	自局ダイヤル No.を決定キー●で選択します。拠点(子機) 設定では1つのみ表示され、センター(親機)設定では5つ 表示されますので△▽キーで選び決定キー●で確定しま す。続いて接続先のダイヤル No.を入力します。
-シュト゛ウセツ ソ゛ク- [セツソ゛クサキ タ゛イヤル No.] シュト゛ウ セッテイ 1:xxxxxxxx	シュドウセッテイを選び決定キー●で選択しダイヤル No. を入力するか、電話帳に登録済みのダイヤル No. を選び決定 キー●で選択してください。なお電話帳の最大登録数を超 えて入力することはできません。このため拠点(子機)設定 で電話帳に1件登録している場合はシュドウセッテイを選 択することはできません。
-シュト゛ウセツ ソ゛ク- [セツソ゛クサキ タ゛イヤル No. ] > xxxxxxxxx	シュドウセッテイを選択した場合は接続先の電話番号を入 カしてください。
シュト゛ウセツソ゛クカ゛ オコナエマス シュト゛ウセツソ゛ク スルニハ ツウワホ゛タン ヲ オシテクタ゛サイ	自局ダイヤルNo.がSIPサーバに登録されていれば 通話キ ーを押すことにより接続を開始します。
[セツソ゛クヲ カイシ シマスカ?] セツソ゛ク スル セツソ゛ク シナイ	接続を開始する前に確認画面が表示されます。接続する場 合はセツゾクスルをΔ▽キーで選び決定キー●で確定しま す。
-デンワチョウヘノトウロク カクニン- [デンワチョウヘトウロクシマスカ?] ホゾン スル ホゾン シナイ	シュドウセッテイした場合はその後ダイヤル No. を電話帳 に登録する画面が表示されます。ホゾンスルを選び決定キ ー●で確定した場合は、電話帳に保存されます。このとき 接続先の名前はブランク、自動接続は禁止、自動着信は許 可になります。

### 6.8 シュドウセツダン

確立しているセッションを指定して手動で切断します。なお電話帳にて自動接続にしているセッションに ついては本操作により切断できますが、その後再接続されます。

1-1: 〇	左画面例に表示される 1-1 は「自局ダイヤル No. No. 1」-「接続 先ダイヤル No. 1」の組を意味しています。センター(親機)設定で 複数接続を行っている場合は表 6.6のように複数組が表示されま す。
	画面に表示された組のうち、〇状態の組を選んで決定キー●で選 択します。その後切断キーを押すことによりセッションを切断し ます。



表示記号の\*はSIP セッション NG、一は設定なし、×はSIP セッションは OK だが接続先装置との VPN が NG Oは接続先装置との VPN が OK を示します。

### 6.9 ソウチジョウタイ

### (1) セツゾクジョウタイ

1-1: 0	接続組ごとの接続状態を表示します。シュドウセツダンにて表示 される内容と同じです。

### (2) イーサポート ジョウタイ

[ポート ジョウタイ]	WAN、LAN1~4、管理ポートの接続モードを表示します。
WAN :100M Full	リンクしていないポートはミセツゾクになります。
LAN1 :100M Full	
LAN2 : (177 /	

### (3) ソウチジョウホウ

[///f ジョ/ル/)] Ver:V3.0.1-00xxxxxx MAC:004041D00150 Ser:J0870001A 】	g直のファームウェアハーション、 AN ポートの MAC アドレス、製造番号を表示し Eす。
--	--

(4) ログ

装置のログを表示します。ログは約15分ごとに不揮発性メモリに書き込まれます。

[p/ĭ]
-------

### 6.10 ホシュ

(1) ファーム アップデート

[ファーム アップデート] - USB ヲセットシテクダサイ - ファームアップ ジッコウ	<ul> <li>ファームウェアをルート(¥)ディレクトリに保存した USB メモリ</li> <li>を USB ポートへ差し込みます。決定キー●を押すと実行します。</li> <li>アップデート終了後、何か key を押すと装置は再起動します。</li> </ul>
---	--

ファームアップデート画面で指定するアップデートファイルは正しく配布されたものをご使用下さい。



本装置用ファームウェア以外のファイルを指定してアップデートを実行する と、装置が起動しなくなる場合があります。

- ▶ 注意 V3.0.4以下にはバージョンダウンできません。
- (2) ログホゾン

[ロク゛ ホゾ゛ン] - USB ヲセットシテクタ゛サイ -	USB メモリを USB ポートへ差し込みます。決定キー●を押すと USB メモリへ装置ログをコピー開始します。 user. log 名で保存されま
ホソ゛ンスル	す。



(3) カルテホゾン

[カルテ ホゾン]	装置障害時に装置情報等解析に必要な情報を一つのファイル(カ
- USB 7セットシテクタ *サイ -	ルテファイル)に保存することができます。
ホゾ゛ンスル	USB メモリを USB ポートへ差し込みます。決定キー●を押すと USB
	メモリへ装置情報をコピー開始します。 karte 名で保存されます。
	装置障害問い合わせの際にカルテファイル(karte)を提示くださ
	い。 

### 7. Webブラウザによる設定・管理

注意

設定操作中に装置の電源をOFFしますと、設定内容が消え工場出荷状態に戻る

場合があります。設定作業中は絶対に装置の電源をOFFしないでください。

7.1 Webブラウザの接続

本装置の管理ポートの工場出荷時設定は IP アドレス 192.168.0.1 サブネットマスク 255.255.255.0 になっています。

管理用端末の IP アドレスを本装置に合わせ同じネットワークとなるよう設定します。

(例:管理端末 IP アドレス 192.168.0.100 サブネットマスク 255.255.255.0) Web ブラウザのアドレスバーに、

URL : http://192.168.0.1:8090

を入力してください。

| アドレス(D) 🙆 http://192.168.0.1:8090

▼ ラ 移動

- ※ Web ブラウザは Internet Explorer のバージョン6以上を使用してください。 その他のブラウザ・バージョンを使用すると、正しく動作しない・表示が乱れるなどの場合があ ります。
- ※ Internet Explorer のプロキシ設定が有効になっていると接続できない場合があります。
- ※ Internet Explorer の設定を以下のようにしてください。
   [ツール(T)]-[インターネットオプション(0)]-[セキュリティ]-[レベルのカスタマイズ(C)]
   ・スクリプトーアクティブスクリプト: 有効
  - ・ダウンロードーファイルのダウンロード:有効。
  - [ツール(T)]-[インターネットオプション(0)]-[全般]-[インターネットー時ファイル]-[設定(S)]
    - ・保存しているページの新しいバージョンの確認:ページを表示するごとに確認する(E)

7.2 ユーザ名、パスワードの入力 本装置に接続するとユーザ名とパスワード入力画面がポップアップしますので、以下を入力して ください。

ユーザ名 :admin パスワード :admin	(小文字) (小文字)	(出荷時設定)
192.168.0.1 へ接続		? 🛛
DialVPN	2.168.0.1 (こ(オユー	-ザー名とパスワードが必要です。
ユーザー名( <u>U</u> ):	🕵 admin	<b>~</b>
パスワード( <u>P</u> ):	****	
	✓パスワードを	記憶する( <u>R</u> )
		OK キャンセル



### 7.3 メニュー

Web ブラウザに表示されるメニューは以下のようになっています。 設定の手順として、まず自局ダイヤル No. 設定(「装置設定」-「ダイヤル No. 設定」)を実施してくだ さい。接続先ダイヤル No. 設定(電話帳または手動接続)はその後に実施してください。

メイン	サブメニュー	内容
ホーム	-	本装置にログインすると表示されます。
7.4 参照		自局のエリア設定(西日本/東日本)、センター設定/拠点設定、
		現在の時刻が表示されています。
装置設定	ダイヤル No. 設定	自局ダイヤル No.・パスワードを設定します。 センター (親機) 設定で
7.5 参照		は最大5つまで設定できます。
		NTT東日本エリア設定の場合はパスワードの入力は不要です。SIP
		サーバの IPv6 アドレスがNTT東日本にて変更があった場合には修
		正ができます。
	ポート設定	WAN・LAN・管理ポートの通信モード、クロス/ストレート設定をしま
	カレンダー設定	日付・時刻設定をします。
	暗号設定	センター(親機)設定の場合に表示されます。WAN 側の暗号化設定を行
		います。 拠点(子機)側もセンター(親機)に合わせて自動で変更され
	 ループฝ出設定	SV®   SV®   SVN   SVN  SVN  SVN  SVN  SVN  SVN  S
		「「「「「「「「」」」」「「「」」」「「「」」」「「」」」「「」」」」」「「」」」」
		「官理小」「の」)「レベ設ととしより。 センター(朝烨)設定の場合にまテされます。如占とVIAN タグのフッ
	<sup>720円</sup> / VLAN	ビンメー(税版/設定の場合に改小されより。拠点と VLAN メノのマク ピングに FUI VDN 内をわグメント公けオスニンが出来ます
	マンター折り返し	センター(組織)設定の提合に表示されます。 抑占から受信したパケ
	- ビジア 所り返し	ットを他の抑占に近り返し転送する設定をします。 シームを他の抑占に近り返し転送する設定をします。
	<u>私达改定</u> 	
	小球前仰設定 VDN 乾担設宁	
━≠梔	VFIN 量代設と	VFN 重税の時间间隔で設たしより。 技術生社学のダインル Na 技術条件の記事を行います
电动收 76 关昭		按枕元表直のダイヤル NO.、按枕朱件の設定を11いまり。
7.0 多派 美信 <b>屠</b> 麻		差信履歴を実まします。20件まで保存できます
1758昭		宿田履歴を扱かしより。300円よて休行できます。   屠歴の相毛へ接続 雷託帳への登録   屠歴の削除ができます
1.7 多点		
丁 <u>3</u> 15 00 7 8		設定で複数のダイヤルNo を持つものけ自局ダイヤルNo を選択しま
7.0 275		改定で複数のダイイル100. を持つものは日向ダイイル100. を送択しよ
<u></u>	道通確認	2。   接続先装置との道通を確認できます。おいね_(朝烨)設定で始粉の
衣□1\0 7 0 关昭	守進唯祕	1g mLL 衣直との等地を確認してより。 ビノノー (枕成/ 設たじ後数の   抑占と接続  ている提合け 1 笛託でま陪宝がなる担合け MC にたい
1.5 多照		」たホーマがしている物口は、「回方」てひ降音がのる物口は NU になり   まま
		│ みゞ。 │ 快結牛との半能 (NTT 細内の SID ++ バッの変合半能 は結牛 につ SID
	按称:1人恐	
	ノーエキ。「「小下午に	セッション仏感、VFN 仏感/ ど衣小しより。 切倒もじさより。 WAN LAN 答理者 Loo 酒信エード (10/100M Full/Holf Duploy) たま
	1-7小 - 14 悲	WAN、LAN、官理小一トの通信モート(10/100M, Full/nall Duplex)を衣   ニュナナ
	计型性却	「ホしより。」
	安直(171) 	MAD アトレス、ソリアル留亏、ソステムハーショフを衣示します。
但中		ロンを衣亦しまり。 「コー」ノム」フォルたした UCD ノエリナ壮架。 美いわかい 体理型
1休寸   7,10 至 177	//////////////////////////////////////	ファームリェアを保存した USB メモリを装直へ差込むか、官埋ホー
/.10		トに按続したドリにしノアームリェアを保仔したノオルダを指定する
		かのい9れかにより、装直はノアームワェアを読み込みアツノナー
		トしまり。    10D ノテリナレノは粘白レナラリルダンは黒ヘラ <i>ジナ</i> ロナレナナ
		USDメモリもしくは指定したノオルタへ装直のロクを保仔します。   = ジェッ・エー
	<u>[</u> ][][][][][][][][][][][][][][][][][][]	ロクを消丢します。

	加行保存	メーカへ問い合わせの際に使用する装置情報(カルテ)を USB メモリ もしくは指定したフォルダへ保存します。
	LCD ロックナンバー初期化	LCD ロックナンバーを出荷時設定の値に戻します。
	初期化	装置を出荷時設定にします。ログインパスワード、管理ポートアド
		レスを除きます。
オプション	ログイン・パスワード変更	本装置へのログイン名とパスワードを変更します。
7.11 参照		
	外部コマンド	外部コマンドユーザーのパスワードを変更します。
	パスワード変更	
	外部コマンド	外部コマンドの無通信状態監視時間を設定します。
	監視タイマ設定	
	接続先ファーム	接続先装置のファームウェアをアップデートできます。
	アップデート	センター(親機)設定、拠点(子機)設定どちらでも実行できます。

7.4 ホーム画面

本装置にログインすると以下のようなホーム画面が表示されます。



- メインメニューです。
   大項目として、
   「装置設定」「電話帳」「着信履歴」「手動接続」「装置状態」「保守」「オプション」を選択できます。
   上の図は NTT 西日本エリア・拠点側(子機)設定でログインした時の表示です。
- ② エリア設定を表示します。DIP スイッチにより変更できます。5.2 参照
- ③ センター側(親機)、拠点側(子機)の区別を表示します。5.1 参照
- ④ 現在の日時を表示します。
- ⑤ 外部コマンドモードの場合、「現在、外部コマンドモードで起動中です。」 と表示します。

### 7.5 装置設定

装置基本設定(ダイヤル No.設定、WAN・LAN・管理ポート設定、カレンダー設定、暗号設定(センター設定 時のみ)、ループ検出設定、管理ポート設定、拠点/VLAN マッピング設定(センター設定時のみ)、センター折 り返し転送設定(センター設定時のみ)、帯域制御設定、VPN 監視設定)ができます。サブメニューから設定す る項目を選択します。



ダイヤル No. 設定

装置自身のダイヤル No. を設定します。装置がセンター(親機)設定の場合は5つまで、拠点(子機)設定の場合は1つ設定します。「設定」ボタンをクリックしてください。

Flebo Ethe 本-ム 装置設定	Dici ernet VPN on FLET'S ! 電話帳 着信履歴 手動接続 装置状態 保守 オブション	Flebo Eetho ホーム 装置設定	Dici errret VPN TESK Zital før	on FLET 8続 装置状態 保守	<b>「"S!</b> オブション		
	ダイヤルNo.設定         自局のダイヤルNoとパスワードなどを設定します。         削除ボタンを押すと、設定がデフォルトに戻ります。         ※ ダイヤルNoとパスワードなどは、契約書類を参照してください。         No.       自局ダイヤルNo.         設定         (日本)         (日本)       (日本)         (日本)       (日本)	<b>装置設定</b> ダイヤルNo設定 ポート設定 カレンダー設定 暗号設定 ルーブ検出設定	ダイヤルNo.設定       自局のダイヤルNoとパスワードなどを設定します。       前期ボタンを押すと、設定がテフォルトに戻ります。       ※ダイヤルNoとパスワードなどは、契約書類を参照してください。       No.     自局ダイヤルNo.       SIPサーバ設定     設定				
管理ボート設定 拠点//LAN7水ケ/設定 センター所返転送設定 帯域制御設定 VPN監視設定	1     該定     削除       2     該定     削除       3     認定     削除       4     認定     削除       5     認定     削除	管理ボート設定 拠点/VLAN7ct/ング認定 センター新返転送設定 帯域制御設定 VPN監視設定	1 2 3 4 5	2001:e90:0:3::1 2001:e90:0:3::1 2001:e90:0:3::1 2001:e90:0:3::1 2001:e90:0:3::1	<ul> <li>設定 前時</li> <li>設定 前除</li> <li>設定 前除</li> <li>設定 前除</li> <li>設定 前除</li> </ul>		
⊾ NTT 西日		▶ NTT 東日	本エリア、セン	レター(親機)	没定		

※NTT 東日本エリア設定の場合、SIP サーバ設定を表示します。

Flebo Eth ホーム 法置設定	Dici ermet VPA 電話帳 着信履歴	手動接続	<b>のの F</b> 装置状態	<b>山三了</b> 。 保守	<b>S !</b> オプション	
<ul> <li>装置設定</li> <li>ダイヤルNo.設定</li> <li>ボート設定</li> <li>カレンダー設定</li> <li>暗号設定</li> <li>ループ検出設定</li> <li>管理ボート設定</li> <li>拠点//LANマパック*設定</li> <li>センター折返転送設定</li> <li>帯域制御設定</li> <li>VPN監視設定</li> </ul>	自局のダイヤルNo.とパス ※ ダイヤルNo.とパス No. 1 自局ダイヤルNo. パスワード	ダイ <del>-</del> シ <b>パスワードな</b> ワードなどは、!	ヤルNo.設定 どを設定します 契約書類を参照し	・ してください。 (キャン	<b>◆・・・・・</b> セル 〕〔設定〕	•••••NTT 西日本エリアでは パスワードを入力

契約時に割り当てられたダイヤル No. を入力してください。エリアがNTT西日本の場合は契約時に割り当 てられたパスワードも入力してください。 装置はパスワードにより網側と認証を実施し SIP サーバの IPv6 ア ドレスを自動取得しています。

Flebo	Dial	手動接待	on F	<b>山三</b> 子名 保守	S ! オポション	
		1 30 3002	JOCUEL D CAEX	1. 11	-17747	
◇ 装置設定		ダイ	ヤルNo.設定	•		
	自局のダイヤルNo.	 _パスワードな	どを設定します	•		
ダイヤルNo設定 ポート設定 カレンダー設定	※ ダイヤルNo.とバス	ワードなどは、	契約書類を参照し	してください。		
暗号設定	No. 1					
ループ検出設定	自局ダイヤルNo.					
管理ボート設定 拠点/VLANマパング設定	SIPサーバ設定 (IPv6)	2001:c90:0	:3::1		<b>4</b>	••••• SIP サーバアドレスは 通常亦再比ぜに使用く
センターが返転送設定 帯域制御設定 VPN監視設定				キャン	セル 設定	通用変更もりに使用く ださい。

一方NTT東日本の場合はパスワードによる認証機能はありません。SIP サーバの IPv6 アドレスは 2008 年7月時点で固定(2001:c90:0:3::1)となっています。通常は変更せずに使用ください。万一変更になった場合には、NTT東日本から通知されたアドレスに修正してください。

注意

[設定]ボタンを押さずに別の画面を表示したり、Web ブラウザを閉じたりする と、設定が装置に反映されません。

設定を装置に反映させる場合は、必ず[設定]ボタンを押してから次の操作を行 ってください。

### (2)ポート設定

WAN、LAN1~4、管理ポートの通信モード設定およびクロス/ストレート(MDI-X/MDI)設定を行えます。出 荷時設定は全て自動(Auto-Negotiation、Auto-MDI/MDI-X)になっております。変更した場合は「設定」ボ タンをクリックしてください。

Fle	bo	Di	al	-					
		erne		7		FLE	T'S .		
ホーム	装置設定	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状	能保	守才	プション	
		_							
🔗 装置	置設定			;	ポート設定	定			
		WAN 通常	・LAN・管理の名 はデフォルト(自動	<b>}イーサネッ</b> 助)設定で使用	トポートに掲 利します。	関する設定を	きします。		
ダイヤルNo.	設定								
ホート設定	·=	注意	!接続先の機器。	とのモードがっ	不整合となる	と、通信が切	断する可能	性がありま	
暗号設定	.AE	す。	接続する機器の	没定を確認し	てから変更し	、てください。			
ループ検出語	没定	1 -							
管理ポート設	定 Lando Silico		_					設定	
一 拠点/VLAN7: センター折返	ルワク設定 転送設定	通	通信モード						
带域制御設定	Ē		ポート	<u>自動</u>	1 全2重	100M 坐2番	1 全2番	UM 坐2番	
VPN監視設定	È	WAN	ポート	۲	0	0	 ©	0	
		LAN	∜─Ի#1	۲	$\odot$	$\odot$	$\odot$	$\odot$	
		LAN	∜−⊦#2	۲	0	0	0	0	
		LAN7	ể−Ի#3	۲	$\odot$	$\odot$	$\odot$	0	
		LAN	ドート#4	۲	0	0	0	0	
		管理	ポート	۲	$\odot$	$\odot$	$\odot$	$\odot$	
		スト	レートノクロス						
			ポート	<u>自動</u>	固定				
		WAN		۲	۲, ©	レート:HUB	と接続)		
		LAN	к-h#1 К 1.40	۲		Iス:PCと接続	先) - · ·		
		LAN	下一下#2  * 1 //2	۲		Iス:PCと接続	£)	_	
		LAN	R─F#3	۲	_ © (⊅⊐	Iス:PCと接続	5)		
		LANZ	Ւ∽Ւ#4	۲	◎ (クロ	Iス:PCと接続	£)		
		管理	r-r	۹	0 00	Iス:PCと接続	売〉		

### (3) カレンダー設定

装置の日時を設定します。設定した時刻は着信履歴、ログおよびホーム画面の時刻表示に反映されます。 変更した場合は「設定」ボタンをクリックしてください。



(4)暗号設定

センター(親機)設定の場合に暗号化設定ができます。拠点(子機)設定では表示されません。

1:1接続にて拠点(子機)設定の対向の場合は暗号化通信となります。

出荷時設定は有効になっています。変更した場合は「設定」ボタンをクリックしてください。

Flebo			on F		S 2
ホーム 装置設定	電話帳 着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オプション
装置設定		暗	号設定		
ダイヤルNo.設定 ポート設定	VPNIこ参加している 「暗号化しない」ポリシ・ 「暗号化する」ポリシー	全ての装置の町 ー時には、平文 時には、暗号文	<b>音号化ポリシー</b> での通信を行い での通信を行い	<b>を設定しま</b> う ます。 はす。	す。
カレンダー設定 暗号設定	※ 暗号化設定を変更す 態→接続状態」画面に	すると、通信が- :切り替わります	→時中断します。 ので、通信状態	設定ボタン をご確認くだ。	を押すと、「装置状 さい。
デージャート設定 拠点/VLANマパックジ設定			◎ 暗号化した	ຊຸມ	副定
センター折返転送設定 帯域制御設定 VPN監視設定					

### (5) ループ検出設定

MACアドレスを監視してWAN側とLAN側間でループしている場合に検出した当該パケットの転送を停止させ ストームの発生を防ぎます。出荷時設定は有効になっています。変更した場合は「設定」ボタンをクリック してください。



(6)管理ポート設定

管理ポートの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを順に設定します。出荷 時設定は IP アドレス 192. 168. 0. 1、サブネットマスク 255. 255. 255. 0、デフォルトゲートウェイ ブランクに なっています。変更した場合は「設定」ボタンをクリックしてください。

Flebo	Dial		•			
ホーム 装置設定 グ	電話帳 着信履歴	手動接続	装置状	「態	保守	オプション
────────────────────────────────────		管理	!ポート	設定		
ダイヤルNo.設定 ポート設定	<b>管理ボートのIPアドレ</b> 管理ポートをユーザネッ い合わせてください。	マスを設定しま ットワークへ接続	<b>す。</b> 続する場・	合は、ネッ	トワーク管	理者へ設定を問
ホーロスを カレンダー設定 暗号設定 ループ検出設定	※ IPアドレス変更後、 い。 	本装置に接続	涜している	る端末の	IPアドレス:	を変更してくださ
管理ポート設定	₽アドレス	10	. 4	. 18	. 145	
拠点/VLANマッピシケ設定 センター折返転送設定	サブネットマスク	255	255	. 255	. 0	
帯域制御設定 VPN監視設定	デフォルトゲートウェイ	10	. 4	. 31	. 1	
						設定

(7) 拠点/VLANマッピング設定

センター(親機)設定の場合に拠点/VLANマッピングの設定ができます。拠点(子機)設定では表示され ません。また、当該機能は優先切替スイッチをオフに設定している場合のみ有効となります。

出荷時設定は「透過する」になっています。VPN内をセグメント分けして使用する場合は「マップする」 を選択してください。



「マップする」を選択した場合、「全ての拠点を同一マッピングにする」または「個別にマッピングにする」 の選択が行えるようになります。「透過する」を選択した場合、特に設定する項目は表示されません。 「全ての拠点を同一マッピングにする」場合は、全拠点に同一の「VLAN ID」と「User Priority」を設定し ます。「個別にマッピングにする」場合は、電話帳に登録した拠点ごとに「VLAN ID」と「User Priority」を 設定します。変更した場合は「設定」ボタンをクリックしてください。

Flebo Dicl       Ethernet VPN     on FLET'S!       ホーム 装置設定 電話帳 着信履歴 手動撥装 装置状態 保守 オブション	Flebo Dicil           Ethermet VPN         on FLET'S!           ホーム         茲置設定         電話帳         者信服歴         手動接続         茲置状態         保守         オブション
装置設定         拠点/VLANマシビング設定           ダイヤルAo.設定         第人といANタグのマッピングにより、VPM内をセグメント分けすることが出来ま る。 名拠らごとにマップするMLAN-IDを設定することで、VLAN-IDにより各拠点との通信 を対離することができます。           カレンダー設定         暗号設定 ループ検出設定 管理ボート設定           レープ検出設定 管理ボート設定         LAN間は102.00 VLANを扱えるルークを選くことで各拠点間をルーティングできま す。           ビンター折波転送設定         MARACTングできま す。           学校創業会社のまた         LAN間は10道(DEC)で、マージング地理会社のオージインします。           WAAN-D10110道(DEC)で、0-700種間で入力してください。           **VLAN-ID110道(DEC)で、0-700種間で入力してください。           **User Priority110道(DEC)で、0-700種間で入力してください。           **(優先切替スイッチをオブにしてご使用下さい。 優先切替スイッチをオブにしてご使用下さい。           *後北間マイッチをオブにしてご使用下さい。           **(個先切替スイッチがオンになっているとVLANタグは廃棄されます。           **(AN)2グ         ご適量する。           **(の拠点を回ーマッピングにする 0、個別にマッピングにする           **(AN)20         ご適量する。           **(AN)20         **(AN)           **(2,0)20         **(2,0)20           **(2,0)21         **(2,0)20           **(2,0)21         **(2,0)21           **(2,0)21         **(2,0)21           **(2,0)21         **(2,0)21           **(2,0)21         **(2,0)21           **(2,0)21         **(2,0)21           **(3,0)21         **(2,0)21           **(4,0)21         **(2,0)21           **(4,0)21         **(2,0)21<	装置設定         拠点/VLANマッピング設定           ダイヤルNo.設定         第点とVLANダグのマッピングにより、VPN内をセグメント分けすることが出来ます。 そのしていているいためで、シントクロングにより、VPN内をセグメント分けすることが出来ます。 そのしていているいためで、シントできます。           カレンダー設定         特別直ちにしていうするいLANIDを設定することで、VLAN-IDにより各地点との3論 を分類することができます。           レーブ後出設定         ビング・方法           第号設定         レーブ後出設定           ジェックジングはます。         LAN間なULANGをマッビングします。           「マッブする1:各地点にVLAN-IDをマッビングします。         「透過する」           「マッブする2:ANI-Dを選びたり、ロークの範囲で入力してください。         ※ULAN-IDは通0ECjで、ロークの範囲で入力してください。           ※USAN-IDを提び合っているうている意面できっとができます。         ※USAN-IDを選び合っているしてきます。           ※USAN-IDを提び合っていたりが見た。         ※USAN-IDを認定することができます。           ※USAN-IDを認定することができます。         ※USAN-IDを認定することができます。           ※USAN-IDを認定することができます。         ※USAN-IDを認定することができます。           ※USAN-IDを認定することができます。         ※USAN-IDを認定することができます。           ※USAN-IDを認定することができます。         ※USAN-IDを認知したらロンインチンクリます。           ※USAN-IDを認知したのロンイシテをオフにしてご使用下さい。 優先切替スイッチがオノになっているとVLANらりは廃棄されます。           VLAN2         「近日する」           1         1           1         1           2         2           3         3           4         3955300000           4         4
「全ての拠点を同一マッピングにする」設定	「個別にマッピングにする」設定

※すでに「全ての拠点を同一マッピングにする」設定していた装置を「個別にマッピングにする」設定に変 更する場合、電話帳に登録した拠点ごとに設定する「VLAN ID」と「User Priority」は、「全ての拠点を同一 マッピングにする」設定時の値が引き継がれるようになっております。変更した場合は「設定」ボタンをク リックしてください。

(8) センター折り返し転送設定

センター(親機)設定の場合にセンター折返転送の設定ができます。拠点(子機)設定では表示されません。 センター装置を返した拠点ー拠点間通信の全てを許可するか、禁止するかを設定できます。出荷時設定は「許 可する」になっています。変更した場合は「設定」ボタンをクリックしてください。

Fle	bo	Di			on F		s:
ホーム	装置設定	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オブション
ダイヤルNo. ポート設定 カレンダー部 暗号設定 ルーブ検出 管理ポート 製点/VLANマ センター折返 帯域制御設、 VPN監視設5	<b> 置設定</b> 設定 設定 設定 次た <sup>ッ</sup> ック 、 設定 なた 変定 次た <sup>ッ</sup> ック 、 設定 定 変定 た 変定 、 た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<b>拠点</b> 「許可 「茶止	<b>から受信したパ</b> する」:拠点から する」:折り返し1 折り返し	センター打 ケットを他の夢 受信したパケッ さず、拠点 - 拠	行り返し転ご 見点に折り返し トを他の拠点へ 点間の通信を禁 可する C	<ul> <li> <del>、                        </del></li></ul>	<b>定をします。</b> します。 設定

### (9) 帯域制御設定

WAN 出力の帯域を「 制限なし/1.5M/1M/0.5M/0.25M 」から選択して設定することができます。出荷時設定は「 制限なし 」になっています。変更した場合は「設定」ボタンをクリックしてください。



※帯域制御設定に関係なく、セッション単位の帯域は2 Mbps 固定です

### (10) VPN 監視設定

セッションが確立し、VPN 通信が可能となっている装置間ごとの接続確認間隔を「32秒/16秒/8秒/ 4秒 」から選択して設定できます。当該設定値に従って VPN 接続状態を監視し、確認に失敗すると「VPN 警 報」がログに残ります。また、5回連続で「VPN 警報」が確認された場合、対向装置が切断されたと判断して VPN を切断します。出荷時設定は「8秒」になっています。

Flebo Etho 本-ム 装置款定	Diol ernet VPN on FLET'S ! 電話帳 着信履歴 手動接続 装置状態 保守 オブション
→ 装置設定	VPN監視設定
	VPN監視の時間間隔を設定します。
ダイヤルNo設定 ポート設定 カレンダー設定 暗号設定 ルーブ検出設定 管理ポート設定 拠点/VLAN7ッピック設定 センター析S転送設定	設定したVPN監視間隔ごとに対向装置の接続確認を行っています。 5回連続してVPN警報がでるく確認に失敗する)と対向装置が切断 されたと判断しVPNを切断します。 WANの帯域が狭くログにVPN警報が頻繁に発生する場合、対向装置 が正常に動作していてもVPN切断に至ることがあります。 このような場合に監視間隔を延ばすと有効です。 ※通常はデフォルト値で使用して下さい。
帝-蜀朝師設定 VPN監視設定	VPN監視間隔 8 💙 秒(デフォルト値は8秒です。)
	設定



WAN の帯域が狭い回線を用いて接続している場合は、正常接続していても VPN 警報が頻発して発生し、場合によっては VPN 切断に至ることがあります。 このような場合は、VPN 監視設定間隔を延ばして下さい。

### 7.6 電話帳

『No.1 ~ 10』『No.11 ~ 20』『No.21 ~ 30』『No.31 ~ 40』『No.41 ~ 50』のボタンを押すと登録 No. ごとに接続先の一覧が表示されます。『電話帳登録件数』には、接続先の登録数が表示されます。

接続先の登録(ダイヤル No.、名称、自動接続・着信の許可/禁止)は「電話帳新規追加」ボタンをクリック し行います。最大50件の登録が行なえます。

なお、本操作前に自局ダイヤル No. を、7.5(1)ダイヤル No. 設定にて実施してください。

Flebo	Die			on FL	ET'S !	
ホーム 装置設定	電話帳	<b>若信履歴</b>	手動接続	装置状態	保守 オブ	ション
🔗 電話帳				電話帳		
電話帳	<b>電話帳の</b> ます。 ※最大5	<b>り閲覧、電話</b> i0件の登録が	<b>帳への新規道</b> できます。	〕加や登録済みダ	イヤルNo.などの	編集をし
					電話帳登錄件	数:0件
					電話帳新規	追加
No 1 ~ 10 No 11	~ 20	No 21 r	~ 30	No 31 $\sim$ 40	No 41 ~	- 50
No. <mark>接続先</mark> ダイヤルNo. 名利 、	ト	自局 イヤルNo.	自動接続着信	SIPセッ VPN ション	設定	

接続先名称(全角カタカナで15文字以内)、接続先ダイヤル No. を入力します。センター(親機)で複数の ダイヤル No. を設定している場合は自局ダイヤル No. からひも付けするダイヤル No. 、もしくは『指定なし』 を選択してください。

次に条件設定をします。自局ダイヤル No が『指定なし』の場合は自動接続設定と着信設定は自動的に禁止 になり選択はできません。自局ダイヤル No. からひも付けするダイヤル No. を選択している場合は自動接続設 定 許可・禁止を選択できます。自動接続を許可にすると接続先と接続できるまで接続動作を繰り返します。 接続先に装置が設置されていない場合や後で必要な時に接続する場合は禁止にします。続いて着信設定にて 設定した接続先からの着信を許可・禁止(自局からの接続のみ許可)を選択します。なお、自動接続許可をす る登録数には制限があります。

設定モード	最大自動接続·許可登録数
センター(親機)、NTT 西	15 件
センター(親機)、NTT 東	5件
拠点(子機)	1件

Flebo	Dial	_			
Ethe	rnet VPN		on Fl	LET	s./
ホーム 装置設定 電	包括帐 若信版姓	手動接続 势	長置状態	保守	オブション
🔗 電話帳		電話帳	新規追加		
	電話帳に接続先ダイ	ヤルNo.などを新	規に追加登録	もします。	
電話帳	* お間違いのないよう れている番号の中から	)にダイヤルNo.をこ う選択してください。	「確認ください。	自局ダイヤ	フレレNo.lは、登録さ
	※ 接続先と自局のダ- が押されると、装置はI	イヤルNo.が設定さ 自動的に接続を開始	れ、自動接続調 始します。	設定許可が	選択されて「設定」
	接続先名称(全角力实	カナ〉 トウキ:	<b>ョウ</b>		
	接続先ダイヤルNo.	55566	ixxxxx		
	自局ダイヤルNo.	No.1	: 39838xxxx	•	
	自動接続設定	〇 許可	互 ◎ 禁止		
	着信設定	• 許可	□ ○ 禁止		
				<u>+</u> +>	セル 設定

「設定」ボタンを押すと、「電話帳の No. xx に追加しました」のメッセージが表示されます。

Flebo	Dial	-		-	and an
Ethe	ernet VPN	<b>.</b>	on F	LET'S	> /
ホーム 装置設定 電	電話帳	手動接続	装置状態	保守	オブション
○ 電話帳		電話	帳新規追加	1	
	電話帳に接続先ダー	イヤルNo.などを	新規に追加登	録します。	
電話帳	* お間違いのないよ れている番号の中か	うにダイヤルNo ら選択してくださ	をご確認ください , ^。	。自局ダイヤル	レNo.は、登録さ
	※ 接続先と自局のダ が押されると、装置は	イヤルNo.が設筑 自動的に接続を	定され、自動接続 開始します。	設定許可が遠	観波されて「設定」
	電話帳のNo 1 に追加	心ました。			
	接続先名称(全角力)	אד)			
	接続先ダイヤルNo.				
	自局ダイヤルNo.	指	定なし	-	
	自動接続設定	0	<u>許可</u> 🏾 禁止		
	著信設定	0	<u>許可</u> <sup>(</sup> ) 禁止		
				t+v>t	zル 設定
<u> </u>					

「編集」ボタンを押すと、既存設定の編集が可能です。

FL	eb	0 Eth	Di		7	1997 	- -			s /	
ホーム	装置	設定	電話帳	<b>著信履歴</b>	手動	<b>表続</b>	装置状	Ľ.	保守	オブ	ション
			_			-	6-1+5				
3	電話帳					Ē	電話帳				
電話帳	電話帳の閲覧、電話帳への新規追加や登録済みダイヤルNo.などの編集をします。										
			※最	大50件の登録な	いできます	•					
									電話	帳登録件	数:1件
									電話	脈新規	追加
No 1 ~	/ 10	No 11	l ~ 20	No 21	~ 30		No 31 h	~ 40	1	Vo 41 ~	r 50
No. 夕	接 イヤルNo.	続先 名	称	自局 ダイヤルNo.	自動接 続	着信	SIPセッ ション	VPN		設定	
1 395	50XXXX			39551XXXX	禁止	許可	-	-	接続	編集	削除
A											

Flebo	Dici/ ernet VPN tak äling	手動接続	<b>〇刀 F</b> 装置状態	<b>以三、</b> 保守	<b>S !</b> オプション
電話帳       電話帳	電話帳に登録済みの * お間違いのないよう れている番号の中から ※ 接続先と自局のダイ が押されると、装置は自	電話帳 設定を編集しま にダイヤルNo.を 選択してください。 イヤルNo.が設定さ 自動的に接続を開	既存設定 す。 ご確認ください れ、自動接続 始します。	。自局ダイ* 設定許可が	アルNo.は、登録さ 選択されて「設定」
	接続先名称(全角カタガ 接続先ダイヤルNo. 自局ダイヤルNo. 自動接続設定 着信設定	Jナ) 39550 No.1 ・許証 の許証	)XXXX : 39551XXXX 豇 〇禁止 豇 〇禁止		
				 	セル 設定

### 7.7 着信履歴

装置の着信履歴を最大 30 件表示します。「接続」ボタンをクリックすると接続先に接続を開始します。 ただし、拠点(子機)設定で既に電話帳に1件登録されている等、電話帳の最大登録件数に達している場 合は接続できません。

	-le	bo	<b>Dial</b>	VPN		on F		· · · s .	
_	ホーム	装置設定	電話帳	皆信履歴	手動接続	装置状態	保守	オ	ブション
_									
Í	🦩 着信	履歴	美作尼田	~ <b>60 F</b> t <b>4 3</b>		着信履歴	+		
_			右信度症	の風夏や月	<b>小味、电話帳</b> /	への豆芽をしまり	••		
	着信履歷		※ 最新の	30件を表示	します。				
									全件削除
								_	王田的林
	<b>D</b> 44	n + 88		接続先		自局		= 11	
No.	日15	可間	ダイヤルNo.	4	る称	ダイヤルNo.		設定	
1	2008/08/03	08:03:39	55566XXXX	トウキョウ		39838xxxx	接続	登録	削除
2	2008/08/08	19:26:43	39833XXXX			39838xxxx	接続	登録	削除

「登録」ボタンをクリックすると電話帳に登録ができます。ただし電話帳の登録制限数以内の場合に限 ります。

Flebo L	<b>ial</b>	N	on F					
ホーム 装置設定 管	電話帳 着信履歴	<b>王</b> 手動接続	装置状態	保守	オブション			
→ 着信履歴		差	信履歷登錄					
	着信履歴から選択	Rした接続先タイ	ヤルNo.などを	電話帳に登録	乱ます。			
着信履歴	* 自局ダイヤルN できます。	0.は、登録されてい	るものの中から	う→つを選択し	て変更することが			
	ー ※ 接続先と自局のダイヤルNo.が設定され、自動接続設定許可が選択されて「設定」 が押されると、装置は自動的に接続を開始します。							
	接続先名称(全角)	ללגע 🗌						
	接続先ダイヤルNo	. 39	833XXXX					
	自局ダイヤルNo.	N	o.1 : 39838XXX	∝ -				
	自動接続設定	C	許可 〇 禁止					
	<b>著信設定</b>	0	許可 〇 禁止					
				キャン	セル 登録			

### 7.8 手動接続

接続先のダイヤル No. を入力して接続を行います。センター(親機)設定で複数のダイヤル No. を設定 している場合は自局ダイヤル No. からひも付けするダイヤル No. を選択してください。ただし、拠点(子 機)設定で既に電話帳に1件登録されている等、電話帳の最大登録件数に達している場合は接続できません。

なお、本操作前に自局ダイヤル No. を 7.5(1)ダイヤル No. 設定にて実施してください。

Fle	bo	Dia			on F		s <i>1</i>
ホーム	装置設定	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オブション
<b>手動接続</b>	力接続	接続分 ※ お間	をと自局のダイ 1違いのないよう	<b>キルNo.を設定</b> いに接続先と自見	手 <b>動接続</b> こ、接続を開始 のダイヤルNo.	<b>らします。</b> をご確認くだ	غد،
		接続先	ダイヤルNo.				
		自局ダ	イヤルNo.	No	.1 : 39838xxx	< 💌	
							接続

※拠点(子機)設定の場合、"自局ダイヤル No."は表示されません。

### 7.9 装置状態

接続先の装置との導通確認、接続状態、ポート状態、装置情報、ログを確認できます。

Fle	bo	Dia			on F		s /
<u>ホーム</u>	装置設定	電話帳	<b>若信履歴</b>	手動接続	装置状態	保守	オブション
	<b>鬒状態</b> 状態	\$41 \$	▼ルVPN装置の	が状態やログな	装置状態 どを表示します	•	

(1)導通確認

接続先の装置との導通を確認します。センター(親機)設定で複数の拠点(子機)と接続している場合は、 全ての拠点との導通が確認できた場合に OK、一箇所でも障害がある場合は NG となります。

Flebo	Dia erne			on F	UET-	sı
ホーム 装置設定	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オプション
法通应到	登録を	れている全て	の接続先とVP	導通確認 Nの導通を確認	します。	
特温電影 接続状態 イーサポート状態 社界時期	※ 全て ある場	この接続先とVP 合NGとなります	N導通が確認で 「。	きた場合にOKと	となり、一箇	所でも疎通障害が
一流直前種						通確認テスト
	J					

### (2) 接続状態

現在接続中の接続先および電話帳に登録されている接続先との状態を表示します。「切断」ボタンをクリックすると SIP セッション/VPN を切断できます。ただし自動接続設定が許可になっている場合は、その後接続を自動で開始します。

Fle *-4	L ž	して Ethe 置設定 電		07/ マレクト 若信履歴	手動接続	で	。 小小 「一」 「大熊	<b>山 三</b> 保守	<b>r-s</b> <u>1</u>	ブション
3 装置	置状	能		接続状態						
	- 状態						ktiital ∖.	手動接続に		
自拠点 No. ダイヤル	ī. No	ダイヤルNo	接続的	も 名称	自動接	着信	S. サーバ	IP セッシ	VPN	切断
1 39638XXXX	(	55566XXXX	トウキョ	о Ф	禁止	許可	登禄 OK	J OK	<del>暗</del> 号0K	切断

(3) イーサポート状態

WAN、LAN1~4、管理ポートの接続モードを表示します。リンクアップしているポートでは速度・全二重/半 二重が表示され、リンクダウンしているポートでは表示されません。

Flebo	Dio					ing and a state of the second seco
ちっか 花田歌定	nerne ≣≇#	t VPN 著住展歴	手動接待	on F 注册报修	LET	S [ オ <del>オミノ</del> ョン
法置状態	AT Days	ACTO ARAL	」 新 1 一 サ :	ネットボート状!	ž.	
<b>萍通確認</b>	イーサ	<b>ネットボートの</b> ボート	)状態を表示し	<b>ます。</b> 速度	全2	重/半2重
なないたを イーサポート状態 装置情報	WAN7	WANポート: LANポート#1:		100M		 重
П <i></i>		LANポート#2: LANポート#3:				-
	LANボ 管理ボ	└─ <b>├#4:</b> └─├		 M	 全2	 重
-						

### (4)装置情報

装置の WAN ポート MAC アドレス、シリアル番号、システムバージョン(ファームウェアバージョン)を表示 します。



### (5)ログ

装置のログを最大 1000 件まで表示します。「警報ログのみ表示する」ボタンをクリックするとエラー等の 警報関連のログだけを見ることができます。ログは約15分毎に不揮発性メモリへ保存されます。

Elalaca	Dial	-			
Tiebo		C			
	hernet V	PN	on	FLET'S	5/
ホーム 装置設定	電話帳 着信	履歴 手動	接続 装置状態	保守	オブション
法置状態			ログ		
	ログを表示しま 数据ログの みの	<b>す。</b> シェニンタイハロ	ガーキテー・カーレスキュ	おっきます	
			シの教礼の切り首え	いてきます。	
接続状態		ᄨᇏᇊᇊᄱᅭᇽ	, <u>+</u> - + 7		
イーサポート状態		音報ログのる	****** 3	とてのログを表示	する
装置情報					
ログ	日付	時間		内容	
	2008/08/01	15:31:39	WANボートがリン	クアップしまし	t 🔺
	2008/08/01	15:31:39	管理ボートがリン	クアップしました	2
	2008/08/01	15:31:33	装置か起動しまし	た	
	2008/08/01	14:43:47	村刻相圧しました	ウマッゴレキレ	E.
	2008/08/01	14:43:40	LANJホートかりノ MANポートポリン	ツアッフしまし クマッゴロキロ	/c =
	2008/08/01	14:43:46	管理ボートがリン	クアップしました	•
	2008/08/01	14:43:40	装置が起動しまし	た	
	2008/08/01	14:38:26	時刻補正しました		
	2008/08/01	14:38:26	LAN3ポートがリン	クアップしまし	た
	2008/08/01	14:38:26	WANボートがリン	クアップしまし	E
	2008/08/01	14:38:26	管理ボートがリン	クアップしました	<u>-</u>
	2000/00/04	44.00.00	壮里松白鉢(十)	<b>t.</b>	

### 7.10 保守

装置の保守に関する項目です。ファームウェアアップデート、ログ保存・クリア、保守情報(カルテ)の保存、LCDロックナンバー初期化、装置初期化ができます。



(1) ファームアップデート

自局のファームウェアをアップデートできます。アップデートは USB メモリまたは管理ポートに接続した PC から実施できます。

USB メモリを使用する場合はアップデート対象のファームウェアをルート(¥) ディレクトリに保存し USB ポートに差込みます。また PC からアップデートする場合はアップデートファイルを「参照」ボタンをクリック して指定します。どちらの場合も次に[ファイル読み込み]ボタンを押してください。

ファイルを読み込み後、次に表示される画面で「ファームアップデート」ボタンをクリックします。

ファームアップデート中は、決して電源を切らないようにお願いします。

アップデート完了後、必ず[自局装置を再起動する]ボタンをクリックし装置の再起動を行ってください。

Flebo	Dial				
<u> た ーム                                  </u>	ernet VPN 電話帳  着信履歴	手動接続	on F 装置状態	<b>山三丁</b> 名 保守	S 』 オブション
- 保守	自局のファームウェ	ファー. アを更新します	ムアップデー ト。	-Ւ	
ファームアップデート ログ保存 ログクリア	※ ファームアップデー は削除されます。	-トを実行すると	、現在実行中の	処理は中断さ	れ、一時ファイル
カルテ保存 LCDロックナンバー初期化 装置初期化	USBメモリを装置本作 アップデート方法 『	NC挿入して、ア )USBを装置に	ップデートを行う 挿入しない 〇	かどうかを選 USBを装置に	択してください。 :挿入する
	USBメモリを装置本作	りこ挿入しない場	哈、更新するフ:	ァイルを指定し 参照…	してください。
				771	ル読み込み
				自局装置を	再起動する



(2)ログ保存

ログを管理ポートへ接続している PC または USB メモリに保存できます。

Flebo	Di		۲ ÷ thite	on F	l ar	S [	
	49,00 116	4313784.66	1-360130-06	2010117.22	[ <b>W</b> 2]		
子 保守			E	コグ保存			
	ログを	ログをPCのファイルへ、または装置本体のUSBへ保存します。					
ファームアップデート ログ保存 ログクリア	※ US ださい	日に保存する場。 。	合は、装置本体	icUSBメモリを	挿入して、保	存ボタンを押してく	
カルナ様存   LCDロックナンバー初期化			PCへ保存	存 装	置のUSBメ	モリへ保存	
装置初期化							

ファームウェアアップデートやログ保存中等USBメモリへアクセス中にUSBメ 注意 モリを引き抜くと、USBポートやUSBメモリが故障する場合があります。USB メモリを引き抜く場合はアクセスをしていない時に行ってください。

(3) ログクリア

「ログクリア」ボタンをクリックすることでログを消去できます。

<b>Flebo</b> <u> </u> <u> </u> <u> </u> たーム 装置設定	Di erne 電話帳	07/ At VPN 著信履歴	手動接続	on F 法置状態	<b>山三丁</b> - 保守	<b>S !</b> オブション
	нўа ж Га	<b>行済去します。</b> グクリア」を押す	□	<b>グクリア</b> →ログ」画面に切	り替わります	-。 ログクリア

### (4)カルテ保存

装置障害時に装置情報等解析に必要な情報を一つのファイル(カルテファイル)に保存することができます。 保存先は USB メモリまたは管理ポートに接続した PC を選択できます。ファイル名は karte で保存されます。 装置障害問い合わせの際にカルテファイル(karte)を提示ください。



### (5) LCDロックナンバー初期化

LCDロックナンバーを工場出荷時の値へ戻すことができます。

Flebo	Dial		on F		s 1
ホーム 装置設定	電話帳 着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オブション
· 保守		LCDロック	7ナンバー初	期化	
ファームアップデート ログ保存 ログクリア	LCDロックナンバー: ※「ナンバー初期化」 値)へ戻します。	<b>を初期化しまっ</b> <sup>を</sup> 押すと、LCDC	<b>す。</b> コックナンバーをご	工場出荷時(	ひ状態(デフォルト
カルテ保存 LCDロックナンバー初期化 装置初期化					フバー初期化

### (6)装置初期化

管理ポートのネットワーク設定とログイン名・パスワード、ログ、着信履歴以外の全ての設定を工場出荷 時の初期値へ戻すことができます。「初期化」ボタンをクリックすると初期化を実行し自動的に再起動します。





装置初期化中に電源をOFFしますと、装置が起動しなくなる場合があります。 装置初期化中は絶対に装置の電源をOFFしないでください。

### 7.11 オプション

ログイン名・パスワードの変更、外部コマンドパスワード変更、外部コマンド監視タイマ設定、接続先フ ァームアップデートができます。



(1) ログイン・パスワード変更

ログイン名(ユーザ名)・パスワードを変更できます。

出荷時設定は どちらも admin になっています。

セキュリティ確保のため、ログイン名・パスワードは変更してお使いください。

ログイン名・パスワードを半角英数で8文字入力してください。半角スペースは使用できません。

Flebo	Dial				
ホーム 装置設定 電	Thet VPK 話帳 着信履歴	手動接続	on F 装置状態	保守	オプション
オブション		ログイン	・パスワード	変更	
ログイン・パスワード変更 外部コマンドパスワード変更 外部コマンド監視タイマ設定 接続先ファームアップデート	本装置へのログイン ロヴイン名とパスワー ※ 半角スペースは使	<b>名とバスワー</b>   ドは1〜8文字じ 用できません。	<b>ドを変更します。</b> れ内で入力してくた	Eði 10	
	ログイン名				
	古いバスワード				
	新しいパスワード				
	バスワードの確認				
					設定

(2) 外部コマンドパスワード変更

外部コマンドパスワードを変更できます。(ログイン名は extuser 固定です。変更できません。) 出荷時設定はログイン名と同じ extuser となっています。

セキュリティ確保のため、パスワードは変更してお使いください。

パスワードを半角英数で8文字入力してください。半角スペースは使用できません。

	ernet VPN		on F	LET	S /		
ホーム 装置設定 電	電話帳 着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オプション		
> オブション		外部コマン	ドバスワー	└変更			
ログイン・パスワード変更 外部コマンドパスワード変更 外部コマンド監視タイマ設定 	<b>外部コマンドユーザーのバスワードを変更します。</b> パスワードは5~8文字以内で入力してください。 ※ 半角スペースは使用できません。						
	ログイン名	extuser					
	古しい「スワード						
	新ししパスワード						
		-					

(3) 外部コマンド監視タイマ設定

外部コマンド無通信状態監視時間を変更できます。

デフォルトは3分です。

Flebo	Di		-			~		
ホーム 装置設定	電話帳	着信履歷	手動接続	装置状態	保守	オブション		
オプション			外部コマン	小監視タイモ	マ設定			
ログイン・パスワード変更 外部コマンドパスワード変更 外部コマンド監視タイマ設定	外部コマンドの無通信状態監視時間を設定します。 「設定」を押すと、無通信状態が指定した時間を超えた時に監視処理を行います。 ※デフォルトは3分です。							
後院先ファーム / ッファート	無通	言監視時間	:	3 🔻 分				
						設定		

(4) 接続先ファームアップデート

接続先装置のファームウェアアップデートができます。センター(親機)設定、拠点(子機)設定どちらでも 実行できます。

接続先ファームアップデートを行うには、VPN 接続が確立している必要があります。

自局のアップデート(7.10保守(1)ファームアップデート)と同様に行います。アップデートする対象拠 点は1つずつ選択し実施します。

Flebo	Di			on Fl			
ホーム 装置設定 (	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オブション	
タオプション	接続先の	እጋァームウェ	接続先ファ アを更新しまう	ームアップラ す。		_	
ログイン・パスワード変更 外部コマンドパスワード変更 外部コマンド監視タイマ設定	※ ファー してくだる ください。	・ムアップデート さい。複数接続す	・の対象接続先な ものファーム更新	を一箇所選択し 新を行う場合も、・	,て、更新す →箇所ずつ;	るファイルを指定 選択して実施して	
接続先ファームアップデート	*「接続 す。	洗装置を再起	勧する」を押すと	、「装置状態→持	₩続状態」画	面に切り替わりま	
USBメモリを装置本体に挿入して、アップデートを行うかどうかを選択してください。 アップデート方法 © USBを装置に挿入しない © USBを装置に挿入する							
	USBXŦ	りを装置本体に	=挿入しない場合	、更新するファー	イルを指定し 参照…	てください。	
					ファイ	ル読み込み	
				接線	売先装置を開	再起動する	
	No.	自局 ダイヤルNo.	ダイヤルN	接続先 Io. 名	称	対象	
			-	-			
	1 3	XXXX1cce	-	-		0	

拠点側で自局ファームアップデート中に、センター側からその拠点に接続先 ファームアップデートを行うと、ファームアップデートに失敗し、30分間再 ファームアップ出来なくなります。接続先ファームアップデートと自局ファ ームアップデートは同時に行わないように注意して下さい。

▲ 注意

注意

接続先ファームアップデート中、帯域が細いなどの理由でパケット落ちが発 生しやすい環境下では、ファームアップデートデータのやり取りが中断され、 エラー終了する場合があります。

特に、ADSL回線をご使用の場合は注意が必要です。 もし、万が一、エラー終了してしまった場合は、次ページの「※接続先ファ ームアップデートエラー時の対処について」をご覧下さい。

### ※接続先ファームアップデートエラー発生時の対処について

接続先ファームアップデート実行中、帯域が細いなどの理由でパケット落ちが発生しやすい環境下では、 エラー終了してしまうことがあります。そのエラー番号によって、その後の対処が変わりますので、表示 されたエラー番号に従って、以下の処理を行って下さい。

(A)「ファームアップデートでエラーが発生しました。[8021]」あるいは「エラーが発生しました。[8039]」
 がエラーメッセージとして出たら、パケット落ちが原因のエラーを示します。
 再度接続先ファームアップデートを実行して下さい。

Fle	bo	Di	al				
<u>ホーム</u>	装置設定	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オブション
				_	<b>Cラー!</b>		
		ファー	ムアップデート	でエラーが発	生しました。[8	021]	
		* ×=	ューを選択して、	操作をやり直し	してください。		
Fle	bo	Di			on F		
ホーム	装置設定	電話帳	着信履歴	手動接続	装置状態	保守	オブション
				-	ビラー!		
		エラー	が発生しました	E₀ [8039]			
		* y	ューを選択して、	、操作をやり直し	してください。		
							ļ
-							

(B) 「現在、接続先はファームアップデートを実行しています。[8101]」がエラーメッセージとして出た ら、接続先は受け取ったファームデータでアップデートを実行中であることを示します。

このアップデートは10分程度で終了しますので、10分以上経過したら、「接続先装置を再起動する」ボタンを押しファームウェアを有効にして下さい。

Fle	bo	Die			on Fi	ini Vett	s1
ホーム	装置設定	電話帳	着信履歷	手動接続	装置状態	保守	オブション
				ב	[ラー!		
<b>現在、接続先はファームアッブデートを実行しています。</b> [8101]							
		* XI-1	. ーを選択して、	操作をやり直し	してください。		

(C)(A),(B) どちらにも該当しないエラーが発生した場合は、別の要因でエラーなったことが考えられま す。この場合も、再度接続先ファームアップデートを実行して下さい。

### 7.12 Webブラウザの終了

操作を終了したらブラウザを終了させてください。

### 7.13 接続先の装置を管理

接続先の装置を Web ブラウザにてログの確認や設定変更を行うには接続先の装置の管理ポートを空い ている LAN ポートに接続します。このように接続することで VPN を経由して管理ポートにアクセスできま す。なお、管理ポートの IP アドレスは他の機器と重ならないように適正に設定してください。



8. 外部コマンドモード

### 8.1 外部コマンドモード

本装置の管理ポートから SSH でログインし、外部コマンドモード(DIP スイッチ Bit8: ON)ならば、 以下のような画面が表示され、AT コマンドが使用できます。



- ・ログイン名/パスワードは、Web ブラウザの「オプション」の「外部コマンドパスワード変更」で、 変更することができます。(出荷時のログイン名/パスワードは extuser/extuser。)
- ・AT コマンドのログインは、1 ユーザーのみ。
- ・AT コマンドのログアウトは、終了コマンド「END」でログアウトします。ただし、Web ブラウザ の「オプション」の「外部コマンド監視タイマ設定」で設定した時間を越えても、何もコマンドの 入力が無い場合、次にログインした人がログインできます。
- ・外部コマンドモード中は、電話帳の既存設定は一切無視し、AT コマンドによる発呼、着信許可、 切断のみに従います。
- ・外部コマンドモード中は、VPN が切断したら VPN キープアライブも停止し VPN 再接続はしません。 (手動接続した場合と同じ動作になります。)
- ・外部コマンドモード中は、VLAN マッピング機能は無効となります。

### 8.2 外部コマンドモードのATコマンド

本装置の管理ポートから SSH でログインすると、A Tコマンドとして以下のコマンド入力が可能となります。詳細は、URL: http://www.flebo.net/より「ATコマンドマニュアル」を参照して下さい。 (1) A Tコマンド

• /	
A/	コマンドリビート
【書式】	A/
【説明】	直前に実行したコマンドを再実行する。
A	応答
【書式】	ATA <cr></cr>
【説明】	Flebo Dial からの着信通知(RING)に対して、着信を許可する。
#A	応答拒否
【書式】	AT#A <cr></cr>
【説明】	Flebo Dialからの着信通知(RING)に対して、着信を拒否する。
#Bn	BUSY リザルトコード形式指定
【書式】	AT#Bn <cr></cr>
【説明】	BUSY リザルトコードの形式を指定する。
#Cn	CONNECT リザルトコード形式指定
【書式】	AT#Cn <cr></cr>
【説明】	CONNECT リザルトコードの形式を指定する。
D	発信
【書式】	ATD 《 [ダイヤルパラメータ] 》 [電話番号] 《 [セパレートキャラクタ][任
【説明】	意文字列]》 <cr></cr>
	指定の電話番号に対して発呼する。
En	入力コマンドエコーバック
【書式】	ATEn <cr></cr>
【説明】	Flebo Dial に接続する端末に対して入力コマンド文字列をエコーバックする
	か否かを指定する。
&F	デフォルト設定
【書式】	AT&F <cr></cr>
【説明】	Flebo Dial の外部コマンド設定をリセットします。
Hn	切断
【書式】	ATHn 《: (コロン) [電話番号]》 <cr></cr>
【説明】	n=0 で'∶'以降が省略されている時、現在接続中の全セッションを切断する。
In	装置情報表示
【書式】	ATIn <cr></cr>
【説明】	nの値に従って装置情報を返す。
#Nn	NO CARRIER リザルトコード形式指定
【書式】	AT#Nn <cr></cr>
【説明】	NO CARRIER リザルトコードの形式を指定する。

@Pn	発信自局ダイヤル No. 指定
【書式】	AT@Pn <cr></cr>
【説明】	発信する際の自局ダイヤル No. を指定する。
Qn	リザルトコード送出設定
【書式】	ATQn <cr></cr>
【説明】	Flebo Dial に接続する端末に対してリザルトコードを返すか返さないかを設
	定する。
#Rn	RING リザルトコード形式指定
【書式】	AT#Rn <cr></cr>
【説明】	RING リザルトコードの形式を指定する。
#Sn?	呼の状態表示
【書式】	AT#Sn? <cr></cr>
【説明】	n で指定する自局ダイヤル No.の呼の状態を表示する。n=1~5
Vn	リザルトコード文字/数字設定
【書式】	ATVn <cr></cr>
【説明】	リザルトコードを文字形式とするか数字形式とするかを設定します。
Z	リセット
【書式】	ATZ <cr></cr>
【説明】	Flebo Dial のセッション、外部コマンド設定をリセットします。
END	終了
【書式】	END <cr></cr>
【説明】	AT コマンドを終了して、SSH をログアウトする。

(2) ATコマンドのリザルトコード

入力したATコマンドに対して返ってくる文字列である。

0 : OK	
【表示例】	文字形式 <cr><lf>OK<cr><lf></lf></cr></lf></cr>
	数字形式 0 <cr></cr>
【説明】	正常に実行できるコマンドを受信した時に表示する。
1 : CONNECT	
【表示例】	文字形式 <cr><lf>CONNECT<cr><lf>など(#Cn コマンド参照)</lf></cr></lf></cr>
	数字形式 1 <cr>など(#Cnコマンド参照)</cr>
【説明】	他との SIP セッションを確立した時に表示する。
2 : R1NG	
【表示例】	文字形式 <cr><lf>RING<cr><lf> など(#Rn コマンド参照)</lf></cr></lf></cr>
	数字形式 2 <cr>など(#Rnコマンド参照)</cr>
【説明】	他からの INVITE を受信した時に表示する。
3 : NO CARRIEF	2
【表示例】	文字形式 <cr><lf>NO CARRIER<cr><lf>など(#Nn コマンド参照)</lf></cr></lf></cr>
	数字形式 3 <cr>など(#Nn コマンド参照)</cr>
【説明】	(1) Dコマンドを受けた後、SIP 登録未完了であった時
	(2) Dコマンドを受けた後、SIP 接続を試みたが BUSY HERE 以外の理由
	で失敗した場合。
	(3) リザルトコード" CONNECT" を表示したコネクションが切断した時。
4 : ERROR	
【表示例】	文字形式 <cr><lf>ERROR<cr><lf></lf></cr></lf></cr>
	数字形式 4 <cr></cr>
【説明】	構文エラーなどでコマンドが実行できない場合に表示する。
7 : BUSY	
【表示例】	文字形式 <cr><lf>BUSY<cr><lf> など(#Bn コマンド参照)</lf></cr></lf></cr>
	数字形式 7 <cr>など(#Bn コマンド参照)</cr>
【説明】	Dコマンドを受けた後、SIP 接続を試みたが BUSY HERE を受信して失敗した場合。

### 8.3 外部コマンドモード時のWeb操作

Webの操作画面は、以下のようになります。(シートキーからの入力は全く行えません。)

WEB の メインメニュー	設定・表示項目	変更の有無(一は変更なし)		
	東西設定表示	_		
ホーム	センター/拠点表示	_		
	時刻表示	_		
	ダイヤル No 設定	_		
	ポート設定	_		
	カレンダー設定	_		
	暗号設定	_		
井墨韦古	ループ検出設定	_		
装直設定	管理ポート設定	_		
	拠点/VLAN マッピング設定	表示しない(設定できない)		
	センター折り返し転送設定	—		
	帯域制御設定	_		
	VPN 監視設定	_		
電話帳	電話帳	表示しない(設定できない)		
着信履歴	着信履歴	_		
手動接続	手動接続	表示しない(操作できない)		
	導通確認	表示しない		
	接続状態	_		
装置状態	イーサポート状態	—		
	装置情報	_		
	ログ	—		
	ファームアップデート	—		
	ログ保存	_		
伊立	ログクリア	—		
<b>承</b> 可	カルテ保存	—		
	LCD ロックナンバー初期化	—		
	装置初期化	—		
	ログインパスワード変更			
  +	外部コマンドパスワード変更	_		
	外部コマンド監視タイマ設定			
		_		

# 9. 付録

# 9.1 仕様

外部イン	タフェース条件						
WAN		1	RJ-45	10BASE-T/100BASE-TX Auto Negotiation			
LAN		4	RJ-45	Auto MDI/MDI-X			
管理		1	RJ-45				
USB		1	USB2. 0	ログの記録、ファームウェア更新等の用途			
VPN 機能							
VPN 接紙	売最大数	同時招	<del></del> 接続 15 対地				
ダイヤ	ル No.数	Max.1(子機)		スイッチにより拠点(子機)、センター(親機)			
		Max.5	(親機)	モード選択			
MTUサイ	イズ	LAN 側		1522 バイト(イーサフレームサイズにて)			
		WAN 側		1500 バイト(IP データグラムサイズにて)			
MACア	ドレス学習	自動的	学習				
	学習数	1024 (	LAN/WAN 🖡	<b>罰を通過するパケットの学習数</b> )			
		102	4 を超える	新規エントリは学習済みエントリがエージング			
		に。	⊧り削除さ≉	れるまで転送禁止			
	エージング時間	約10	分				
優先機能		↓ LAN→WAN 転送時の優先機能あり					
	ポート優先	「優先スイッチ」により LAN ポート 1 を優先					
	VLAN タグ	「優ら	<u>もスイッチ</u>	」OFF の場合、ユーザプライオリティビット 4~			
	7のパケットを優先						
暗号化		AES 鍵長 256 ビット センター(親機)設定の場合 ON/OFF 可能					
帯域制	卸	1 対地あたり 2Mbps にシェーピング					
ループ	パケット遮断	ループパケットを検出し WAN 側への転送を禁止する機能					
機能							
転送プロトコル		LAN 側		L3 プロトコル非依存			
		WAN 側		HTTPS, SIP, RTP /IPv6			
保守・運用	Ħ						
管理用·	インタフェース	シートキー					
		液晶ディスプレイ (20 文字×4 行)					
		管理ポート					
		USB ポート					
管理用		液晶メニュー表示に従いシートキーによる入力					
アプリ	ケーション	Web ブラウザによる GUI					
使用環境纟	条件						
動作温度		0~40°C					
動作湿度		30~90% Rh (		(ただし結露無きこと)			
電源条件		本体 DC		DC 12V (専用電源アダプタを使用する事)			
		電源フ	アダプタ	定格電圧 100V 定格周波数 50Hz / 60Hz			
保存条件			-				
保存温度		-10~70°C					
保存湿度		20~90% Rh (ただし結露無きこと)					
その他							
		約 800g (本体のみ)					
<u>ス</u> ± 寸法		W200×D145×H46 5 (mm) (ただし空記物を除く)					
  		15W 25VA 以下					
	消貨電力		13W Z3VA 以下				

### 9.2 本装置の初期化について

本装置の設定内容を工場出荷時の初期状態に戻す場合は、以下の方法で行ってください。

①設定内容の初期化 (管理ポートのネットワーク設定とパスワードを除く)

(1) Web ブラウザ メインメニューの「保守」のサブメニューから「初期化」をクリックします。

(2)次に[初期化]ボタンを押してください。自動的に装置が再起動します。

これにより管理ポートのネットワーク設定/ログイン名・パスワード/着信履歴・ログを除く全ての 設定内容が、工場出荷時の初期状態に戻ります。

②管理ポートのネットワーク設定とログイン名・パスワードの初期化

管理ポートのネットワーク設定/ログイン名・パスワードを初期化する場合は、以下の方法で行ってく ださい。

- (1)本体底面の DIP スイッチの Bit1 を ON 側(上側)にしてください。
- (2) 装置の電源をオフし、再度投入してください。
- (3) 装置の起動完了後、工場出荷時の設定に戻っていることを確認してください。

管理ポート	IP アドレス	:192.168.0.1
	サブネットマスク	:255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	:0.0.0.0 💥
	ユーザ名	:admin
	パスワード	∶admin
		+





※デフォルトゲートウェイは出荷時ブランクになっています。本操 作後は 0. 0. 0 になります。

Bit1を下へスライド

(4) IP アドレスあるいはユーザ名・パスワードが初期化されていることを確認したら、

DIP スイッチの Bit1 を OFF 側(下側)へ戻してください。

- ③LCD ロックナンバーの初期化
  - LCD ロックナンバーの初期化は、以下の方法で行ってください。
  - (1) Web ブラウザ メインメニューの「保守」のサブメニューから「LCD ロックナンバー初期化」を クリックします。
  - (2)次に「ナンバー初期化」ボタンを押してください。

これにより、LCD のロックナンバーが工場出荷時の初期状態に戻ります。

### 10. 保証規定

【保証期間】

保証期間は、ご購入日から1年です。保証期間内に、ユーザーマニュアルの記載に従った正常な状態で故障 した場合、無償修理(物品によっては交換)致します。

【保証が適用されない場合】

保証期間内でも、以下のいずれかの項目に該当する場合は、有償修理とさせていただきます。

また調査の結果、製品に異常が認められなかった場合でも、調査費用をお客様にご負担いただく事があります。

(1) ユーザーマニュアルに記載された使用方法や注意事項を逸脱した取り扱いによる故障。

(2) 火災、地震、水害、落雷等の天災、ならびに異常電圧、落下等の外部要因による故障および損傷

【保証の限度】

本装置の故障、またはその仕様によって生じた直接、間接の損害について、(株)フジクラはその責任を負い ません。

【修理方法】

修理は弊社、または弊社が指定する業者への持込、またはセンドバックにより行わせていただきます。弊社、 または弊社が指定する業者までの輸送費は、お客様のご負担となります。

\* 本保証は、日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせいただく際は、製品の製造番号をお知らせください。

製造番号の確認方法は本体底面の製品ラベルに貼付の製造番号シール(バーコードシール)に記載してある、 9桁の数字になります。



### ● 製品情報・サポート情報など

Flebo サポートサイト URL: http://www.flebo.net/

### ● 技術的なお問い合わせ先

株式会社フジクラ 光システム技術部

TEL: (03) 5606-1202 FAX: (03) 5606-1535

〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1 Mail: flebo@fujikura.co.jp

修理サービスのお問い合わせ先
 株式会社フジクラ
 LAN機器リペアセンター

TEL: (048) 522-7415 FAX: (048) 522-7405

〒360-8515 埼玉県熊谷市箱田4-10

**廃棄について** 本製品を廃棄するときには、地方自治体の条例にしたがって処理して ください。詳しくは、地方自治体にお問い合わせください。



本装置の通信トラブルについて 本製品の通信トラブルにより金銭的な被害を被っても、弊社は責任を 負いません。

性能について

本製品の機能・性能は、単体での確認・保証をしています。 ネットワークサービスに接続した場合の機能・性能は、個々の条件に より異なり、それを保証するものでは有りません。

FNX0710 ユーザーマニュアル 2010 年 8月 第7版発行 株式会社フジクラ 光システム技術部 〒135-8512 東京都江東区木場 1-5-1 Tel. 03-5606-1202 Fax. 03-5606-1535